明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可
每月二回一日十五日發行

愛國婦人

愛國婦人會機關

歐米視察談（下）

農商務書記官　鶴見左吉雄

(三)獨立心に富む事

▲御禮代りに小言　私が英國の一公園を散步して居りまするど、其處に遊んで居た兒童が私の眼前で轉倒ましたので、私は直に抱き起しましたが、遙に此の有樣を見て居ました兒童の母は、感謝の詞一つ申しません。却つて不平の顏色を致しまして、『起して吳れては困る』と申しまして、私の厚意は思はずも母親の小言を頂戴する事となつたのでありますが、之れは兒童に自分が轉倒ば何時でも起して吳れるといふ依賴心を起させず、自分が自分で倒れた時には、自分の力で起きねばならぬといふ獨立心を、子供の頭腦に浸み込ませる爲めであります。

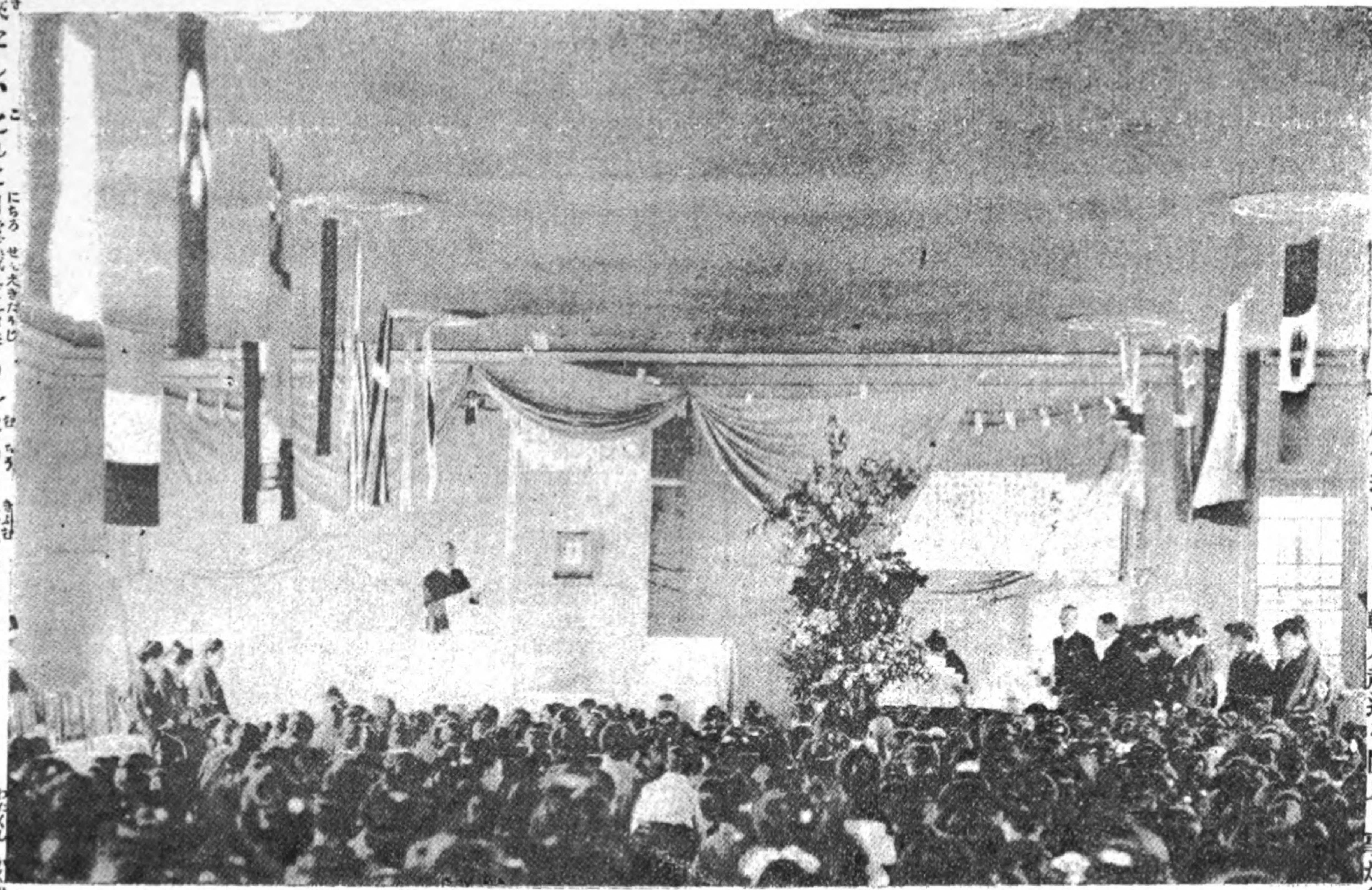
歐米の母親が、其の兒童の自主獨立の心を養成する事に意を用ゐる事が斯の如くでありますから、一般に歐米人は獨立の思想に富んで居る。從つて婦人の副業手工業の如きも頗る盛んに行はれて居るのであります。

▲產業の獨立　私達日本人は、比較的此の獨立心を缺いて居るのでありますから、充分此點に注意して其の養成に心懸けなくてはならぬのであります。而して獨立といふ事に就ては、國家の獨立、軍器の獨立、學問の獨立皆之れ緊要でありますが、殊に此等諸の獨立の基礎とも稱すべき產業の獨立に注意する事は、我國に於て實に焦眉の急務であると申さねばなりません

歐米各國は悉皆此の產業の獨立と云ふ事に力を致しまして、英國の如き自由貿易國でさへも近頃では稍保護政策に傾き、自國產業の獎勵に努めて居るのでありますが、殊に最も此點に力を致して居るのは獨乙帝國でありまして、獨乙實業十戒の歌を一讀すれば獨乙帝國今日の隆運、商工業の勃興の因て來るところを悟り得るのであります。

▲內地品を使用せよ　飜つて我國經濟界の現狀を觀ますれば、國家の財政は不幸にも年々尠からぬ缺陷を示し、且つ外國貿易は年々約五千萬圓以上の輸入超過を來たし、之れに日露戰役當時の外債利息約八千萬圓、合計一億二三千萬圓の正金を年毎に外國へ持つて行かれて了ふと云ふやうな、憂ふべき狀態にあるのであります。故に我々國民は一致協力、擧つて國富を增進し、國家をして此の財政上の窮地を脫せしめなくてはならぬのでありますが、夫れには內地の產業を獎勵發達せしめ、輸入超過を防止ぐ事が急務中の急務であります。そこで私は各家庭に於ける日常の必要品を、成るべく內地產の物で間に合はせて、外國品を使はぬやうにされんことを切に希望致すのであります。然るに我國には舶來品とさへ云へば實質の如何は吟味せず、直に上等品と心得、和製と云へば漫然之れは惡い品と排斥する惡風があります。成る程內地の生產物で未だ遙に外國品に及ばぬ物もありますが、それ等は些少品質は劣つても、內地產であるところから、暫時がまんして使用して戴けば、遠からず舶來品に劣らぬ品が出來る事になりませう。なにしろ商工業者が如何に品物を生產しても賣れ行きがなくては致方がない。賣れ行きが宜いとなると、益々其品物は改良され進步する事にもなります。加今、現今では品物によつては外國品より優つては居ても劣らぬものが出來ます。例之バタ、コンデンスミルク、ソース、石鹼、香水ゴム靴、ラシヤ、ネル、鉛筆、帽子、西洋食器、玻璃器等の如き、決して舶來品に劣らぬものが出來るのでありまして、且其代價は外國品より餘程廉價のですが、それでも尙各商店の顧客は、之は和製ですと云へば頭から輕侮して對手にせず、和製でも舶來だと云へば安心して買つて往くといつて、商店員等は切に笑つて居るさうです。需用の多い以上の品を、常に舶來品を使用して居たのを、價も廉く品質も純良である和製品に易へるやうにすれば、一年中の一家の經濟上にどの位餘裕を生ずるかも知れません。こゝらは實に主婦たる人の働き所と思はれますが、やがてはそれが內地の生產を獎勵發達せしめ、外國品の輸入超過を防止して、正貨の流出を防ぎ、國家財政を今日の窮地より脫せしむる事ともなります。

（大日本婦人敎育會にて講演）


新潟支部新潟市幹事部總會狀況

本號主要目次

▲新潟市幹事部總會狀況、本會最高功勞者肖像
▲歐米視察談……鶴見農商務書記官
▲外國貿易の逆勢に就て……
▲教育勅語衍釋……泰政二郎
▲臺所の片附方……宮川壽美子
▲敵軍の襲來……江原素六
▲ウヰッチントンの猫……芳嶺
▲新講談北白川宮殿下……如燕
▲鯉の裁判……風谷
◎本紙附錄共十六ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人

外國貿易の逆勢に就て

外國貿易の逆勢は本年度に至りて益〻甚しきものあり、去一月以降六月上旬迄の輸入超過實に一億一千餘萬圓の多額に上りました。上半期に於ける輸入超過は毎年の例でありますが斯の如き巨額の超過は未曾有の現象であります。

されば近時產業發達輸入獎勵國富增進の一手段として成る可く内地製品を外國品に代用すべしとの論漸く盛となり、牧野農相の如き曩に地方長官會議に於て明白に此意味を訓示されました。斯の如きは眞に至當の事と云はねばなりません。

今試に昨年度輸入品を見ますると、バター鑵は敢て高價なものではありませんが我國民が外國から買入れたバタ代は十六萬圓餘に上りました。然るに我國には代價も外國品の半値段で而も其品質は農商務省によりて保證されたる純良の物があります。それにも拘はらず我家庭に於ては何を苦みて舶來バタを使用されるでありませう。鷄卵は例年三百萬圓内外の輸入がありましたが昨年度は非常に減少したと云つても尚百十三萬圓餘に上りました。斯うなると鷄卵一個尚輕視する事は出來ますまい。農家の副業に一層養鷄業を奬勵し且我々も亦必ず内地產卵を食膳に上すやうにし此の輸入を防ぐ事が急務ではありますまいか。其他石鹼八十八萬圓、香水七十七萬圓、鉛筆七十八萬圓、ラシヤ一千六十五萬圓、ネル九十萬圓、コンデンスミルク二百萬圓、之等は別項鶴見農商務書記官の明言せらるゝ通り我國に於ても外國品と優劣無き品が出來るのにも拘はらず舶來品と云へば直に上等品と心得る多年の惡習慣を脱する事が出來ぬ爲めに貧窮なる財嚢を拂いて斯の如き輸入を爲し同時に我國產業の發達を阻害し外國貿易の逆勢を助長し益國家財政を危機に陷しめて居るのではあるまいかと思はれます。玆に於て我々は大聲疾呼内地品使用の議を叫びたいのであります。苟も皇國の臣民たる者は多少の不滿足を偲びても外國品を喰はず使はず代ふるに内地品を以てし、皇國の利益を圖るのが急務であります。獨乙國では輸入超過を防ぎ自國產業の發展を圖る爲めに皇帝陛下の御製と稱えられる「獨乙實業十戒の歌」がありまして、汎く國民に謠はれて居るのであります。その歌は曩に本紙十周年紀念號（第二百四十七號）紙上清浦子爵の所說中に掲載致しましたが、所感あつて再び玆に掲げ汎く讀者諸姉の御熟讀を希ひたいのであります。此歌を一讀すれば寒貧の我國民實に根然たらざるを得ざる次第ではありますまいか。

明治四十三年度特別徽章拜受者

男爵夫人 三井苞子氏　高木鐙子氏

男爵夫人 高木富子氏　山脇房子氏

有島幸子氏　原禮子氏

◉獨乙實業十戒の歌

（一）多き寡きとり〴〵に、費すたからは異なれど、御國にすめる同胞の、利益てふことを心せよ。

（二）見る目まばゆき異國の、たへなる品を買はん時、忘るゝ勿れ束の間も、なが住む國の貧しさを。

（三）富める貧しきおのがじゝ、異なりとてもなが黃金、あだにな用ひそはらからの、利益を圖らんその外。

（四）よしや御國に類なき、ものといふともこと國の、機械用ひてうるはしき、わが工場を汚すなよ。

（五）五味には珍のあればとて、なれが折敷のその上に、異國よりのくさ〴〵を、ゆめ盛らしむこと勿れ。

（六）御國にいづる紙の上、書くは御國の筆と墨、吸とり紙の果までも、言ふこと勿れ異國と。

（七）御國にいでしうまし粉や、うまし果實にうまし酒、まことの國民の精力を、なが身に與んものぞこれ。

（八）寒きこの土の民にして、モールトカフヰーを好まずば、海の外なる殖民地、御國の土より來るを飲め。

（九）御國にいづるおりものに、なが身の衣を作れがし、なれが頭を飾らんは、御國になりし帽のみぞ。

（十）口には甘き蜜あるも、こと國人の言の葉に、耳傾けてときのまも、忘るゝ勿れこの敎、人は何ともいはゞいへ、祖國の土に生ひたてる、ゼルマン族の血を亨けし、わが同胞に適はんは、御國にいつる物をおき、外にあらじと知りねかし。

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金[illegible]ります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します　其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が便費もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手で御注文又は御送金の節は必らず一割增に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認め〆願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する勅語（承前）

泰　政二郎

右の理由からして昔も今も此の國家を傷害ふとする者があれば何所までも之を除斥て了はねば止ぬ國風であるから、大伴、久米、物部などといふ古の武臣は、大海行かば水漬く屍山行かば草生す屍大君の邊にこそ死なめ反り見はせじ

と歌うて奕世實行うて來ました、故に後一條天皇の朝に金國の軍勢が壹岐や筑前に來て寇をした時には藤原隆家、大藏種樹等が之れを討ち退け、後宇多天皇の御宇に元國の大軍が博多に押して來た時は北條時宗等が之を鏖殺にしました、此時にも九州の人は十二三から七八十の者まで男も女も皆戰場に出て御奉公をしました。

其の後は日清戰爭と日露戰爭と二度の對外役で止むを得ず交戰をする事になつたが例の通り擧國一致して義勇公に奉じたので天皇陛下は、

子等は皆交戰の場に出で立ちて
翁やひとり家守るらむ

と仰せられて臣民の義勇を憐稱になりました、併しながら大捷の後一旦事平和つて了へば昨日までの敵とも同胞のやうに親善するのが又我が國の氣風であります要之右のやうな狀態で我が國民の資性として皇上の御爲國家の爲となると生命をさへ惜まぬから是れまでは如何な大敵强國とも役にも全勝であつたが中には重傷を負うて敵の捕虜にせられた者もあつて我が軍の內容を白へと責められたり威されたりしても決して其の勢に怖れず其の中には捕虜となつたのを恥辱として自殺した者も多くあります、這般な武士氣質は固より祖先以來の遺風で昔の調伊企儺や鳥居强右衛門などのやうに後世子孫の良模範であります。

吾人の祖先は斯樣に勇ましい潔白な遺風を貽してあるから日本魂とか武士道とかいふ慣習の一つとして義勇奉公の氣風も國中に充滿て「額には箭は立つとも背に立てず」といつて一つ心に君國を奉護る武士の節義は只一代の本分として滿足せず、楠公のやうに七たび生れ替つても皇室を奉護らうといつた位で、近くは廣瀨中佐なども此の遺風を顯はした人であります。

而して又國家の緩急に際しては男子ばかりの義務と思ふ者があつては大きな心得違ひで女子も同じ國民たる以上は力の限り生命の限り十分御奉公して只負傷者や戰病者を看護するばかりでなく或は家に居つても金なり品物なり應分の力を盡して傷病者を恤み將卒を慰藉し場合によつては戰場に出て夫や兄弟や兒孫を助け勵まさねばなりませぬ、申すまでもないが上毛野形名の妻は夫が舒明天皇の詔を奉じて蝦夷を討つた時に賊に圍まれ士卒は一人も無くなつて夫も逃れやうとしたのを妻が諫めて夫に酒を侑め自から劍を佩び婢女等數人に弓弦を鳴らさした爲め賊は城兵が未だ澤山居るものと思うて逃げ去つたから幸に後の辱を受けず、又瓜生保等の母は新田義貞等が後醍醐天皇の皇太子と尊良親王とを奉じて足利高經を討つた時保等と共に之を援けましたが途中高師泰に會うて戰敗れ保と弟義鑑等戰死し三子源琳が殘兵を引いて杣山に還つた時軍士は大概死傷して哭聲城に充ちたけれども母は從容自若で義貞の弟脇屋義治に面うて妾の子等が不肖ゆゑに敗軍をしたが幸に義鑑等が戰死して幾分か陳謝が出來ます併し賊等を平らげる事さへ出來るならば縱ひ千百の子等を失うても決して憾としませぬ尚ほ三子源琳等が在りますから再び事を擧げられませうから妾は此の哀しみを轉じて喜としたいと思ひますといつて酒を侑めながら大に義治を慰めましたから一軍の士氣頓に振ひました、又楠正行の母も幼少の正行を育て敎へて之を戒め勵ましたが適れ忠臣孝子となりました、

此の外武門の世にも母や妻の忠貞義烈の爲めに名を成し功を奏した人が夥多しくありますが玆には略しますけれども我が國の臣民たる者は妻女子といへども皆此の義勇奉公の誠が無くては神國民の母たり妻たる資格がありますまいと思はれますから玆に聊か蛇足事かとも考へましたが二三その實例を史跡から引いたのであります。(つゞく)

◉臺所の片附方

宮川壽美子

食後に汚れた物を臺所に運び出して、種々のものが雜然になつて居りますのを始末致ます折に、順序よく片付けるのと下手に始末を爲るのとは、時間の上から云つても勞力の點から見ても、大變に利不利があります、それでは何處から手を着けて往つたら宜いかと云ひますと、

▲先づ飯櫃の中の飯粒を好く取つて、水を入れて其儘に致て置きます、これは後で洗ふのですが、飯櫃を直に洗ふよりもかく水を入れて置いて後で洗ひますと、よく洗へるのは皆樣御承知の通りであります。それからフライ鍋のやうな油つこいものを煑た鍋には、湯を入れて之れも片隅に置きます。それから膳の上の茶碗皿小鉢に取りかゝるのですが、

▲洗ひ桶は二つ用意し一方には湯、一方には水を入れて、茶碗のやうなものと脂肪氣のあるものを皆別々に分けて、先づ脂肪氣のない茶碗などから洗ひ始め、始めに湯で洗つて水で灌ぎ、その儘にして笊に伏せて置きます、それから西洋料理のやうな脂肪氣のついたものは、一攫みの曹達を湯に溶いて洗ひます、凡て陶器類は、始め湯で洗つて水で灌ぐと光澤が好くなりますが、塗物類は湯で洗つて稍ゝ熱い湯で灌ぎ、器物の未だ暖かい中に拭いて置き、後で空拭、清拭と都合三度拭かなければ不可ません、之等は皆手で洗ふよりも、

▲布巾で洗ひ　ますと、苦もなく綺麗に洗ふことが出來ます、それから膳は何處の家でも、大抵隅を桶の緣にかけるやうに致て洗ひますが、膳は總體隅々が壞れ易いものでありますから、出來るならば平にして洗つた方が宜しいやうに思はれます、膳が洗へましたらば、此度は、

▲飯櫃を洗ふ　のですが、飯櫃には前に水が入れてありまして、ほとびて居りますので、直に綺麗になります、又飯櫃の內に殘つて居る飯粒はよし少しでも夫れを捨てぬやうに致て、壺などに入れて置きますと、洗濯物を致した折の糊になります、飯櫃の周圍を洗ひますのには、大抵磨粉ばかりで洗ふ人が多いやうですが之れは束藁に先づ洗濯石鹼を附けて、それに又磨粉を附けて洗ふ方が宜しいのです、併し之れも毎日でなく今日石鹼と磨粉で洗つたならば、明日は磨粉ばかりで洗ふと云ふやうに致した方が好いやうに思ひます、そうして後で必ず布巾で充分に洗つて置きませんと乾上つてから白い縞が跡に殘ります、飯櫃が洗えましたらば、今度は釜に湯を入れて置いた鍋類を矢張り石鹼と磨粉或は灰を附けて、洗ふのであります。

▲庖丁も　三度目位には磨いて置く必要がありますが、總じて刄物は少しでも刄が立つて居りますと、磨ぐ折に怪我をする恐れがありますから、蒲鉾板のやうなものを始終流し元に立てかけて置いて、其上に刄を寢かして平に置き、靜かに洗ふやうに致さねばなりません、又

▲瓦斯七輪　や、鐵製の改良竈のやうなものは、種々の煑汁などが吹きこぼれて赤く錆びて大變に汚くなり、終にはそこから腐れて來ますから、是等も常に綺麗に洗ひ、錆が出ないやうに磨いて置かねばなりませぬが、それには石鹼の湯で汚いものは豫め洗ひ落して置き、其上にブラック、レートを塗つて磨くのです、これは錆止めの黑い粉と云つてお求めになれば、何處の金物屋でも一包十二錢で賣つて居ります、其用ひ方には少し加減があります、先づ此粉を入用だけ水で溶かし、刷毛のやうなもので一面に塗り、少し乾きかけた頃を見て龜子束藁でキュウ〳〵磨くのです、餘り乾き過ぎますと粉がボロ〳〵に落ちて來ますし、まだ濡れて居るうちですと、いくら磨いても光澤が出ませぬ、一度磨きましたらば、後は毎日油雜布で拭いて置きますと、當分錆の出るやうなことはありません。

▲銅器を磨く　のには、普通は火鉢の灰で澤山ですが、若し急ぐ場合には糠味噌の汁か、或は梅酢でも、又は酢と鹽とでも宜しい、それを束藁に附けて磨きますと、忽ちピカ〳〵に光るやうになります、それから、

▲大抵の臺所では　水道の蛇口を磨くことを忘れて仕舞つて、飯櫃の箍許りピカピカ光つて居りましても、水道の口は黑くなつて居りますが、之れも矢張り磨いて置くやうに致さねばなりませんが、凡て眞鍮を磨くにはアムーアと云ふものを用ひます、之れも金物屋に行けば、廉くお求めになる事が出來ます。(東京女子高等師範學校に於ける第一回女子通俗講演會にて)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

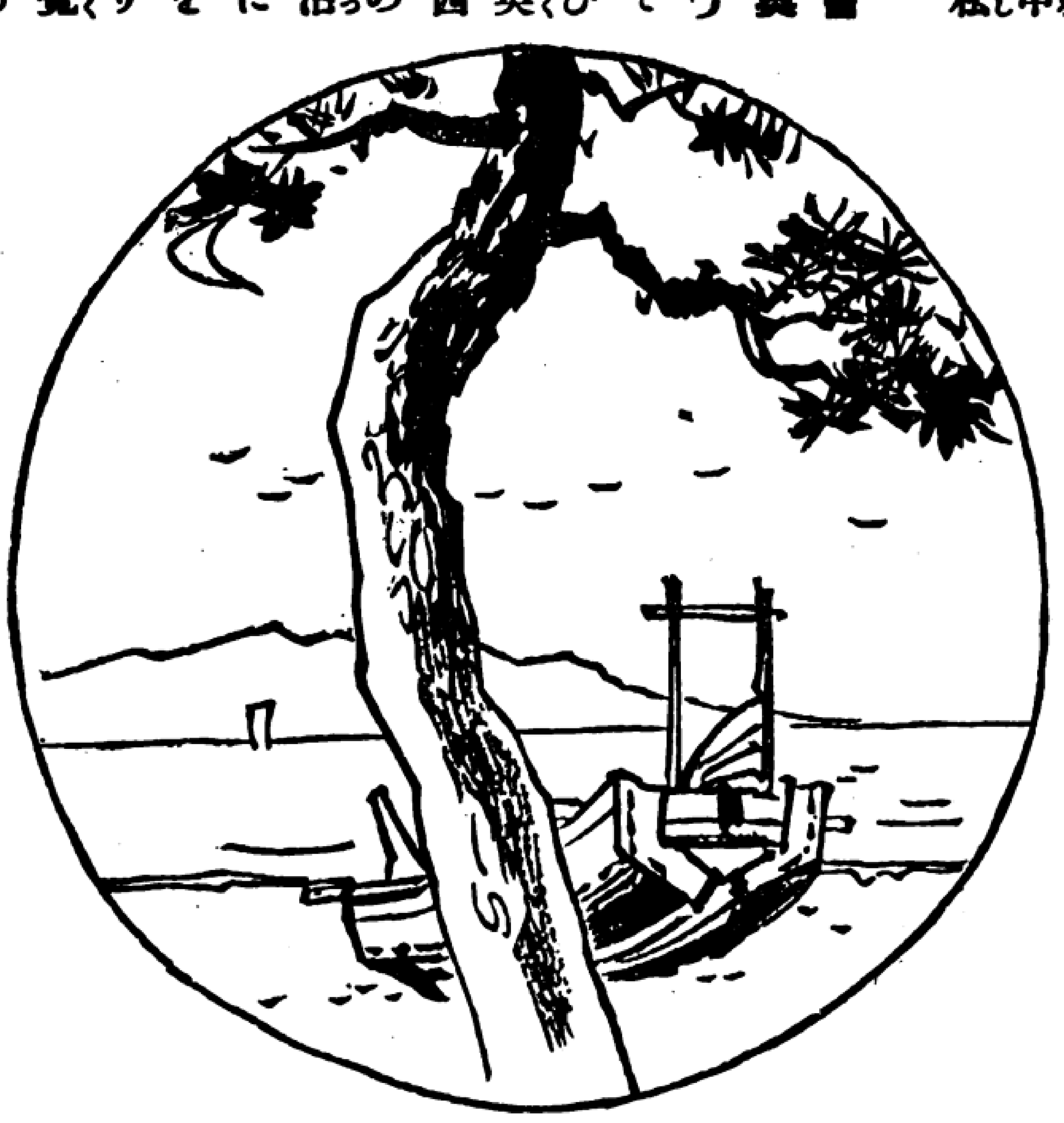
婦人を襲ふ大敵軍來らんとす（上）

貴族院議員　江原素六

女子が社會を風靡する力は、善にも惡にも實に凄じきものがあります。其善にもあらず惡にもあらざる一つの例は、今日中流社會の家庭の言語で能く分ります御維新前までの中流社會の家庭の言語は悉く地を拂つて無くなつてしまつて新いおかしな言葉が澤山あります、是は初め外國の婦人が來て日本の女子敎育を始めまして日本語の不十分なる人、又敎はる人も立派な中流以上の言葉を知つて居る人が行かなかつた、それで種々樣々な言葉が出まして、貴んで言ひますことを粗末に言ひましたり粗末に言ふことを貴んで言ひなしたり致しました、

▲一つの實例があるのです、長崎の女學校を卒業しました者が或會社の社員の息子さんの所に嫁に行きまして、其息子さんが上海に行つて居つたのですが、久ぶりで歸つて來ました、其お父さんは脇に別宅して居りまして、息子の歸つたことを喜んで來まして、勸太郞は歸たかと言ひますと、其女學生であつた嫁は「お荷物は先刻いらすつたけれども、まだ勸さんは歸りませぬよ」と言つた、さういふやうなことが多いのです、又近所の人が電話を借りに參りますと、どうぞ御使ひ下さいと言ひます、成程西洋の言葉ではプリースといふことは澤山用ゐます、併し電話を借りに來たのに、どうぞといふのはおかしいのです、御緩くりとか御自由にとかいふ言葉は澤山ありませう、どうぞ御使ひ下さいといふと此方から願ふことになる、さういふ言葉が多いのです、又頂戴といふ詞が無暗に多いのです、之をして頂戴、してといふ言葉は極ぞんざいな言葉である、詰らないことでも斯の如くで在ますから、善いことにも惡いことにも婦人が社會を風靡する力は恐しい然れば婦人諸君の國家の爲めに盡し盡さないといふことは非常な影響のあるものです。

それならば婦人はどういふやうな覺悟で盡すかと申しますと、私は彼の



▲愛國婦人會を組織した奧村さんのやうな精神を以て働いて御貰ひ申したい、奧村さんは露西亞との戰爭の時に非常な活動をして大に軍人の後援をしたのであります、彼の覺悟が大事である、けれども露西亞は再び攻めて參りませぬのです、併しながら日本へ早晩必ず攻めて來る所の大敵があるであらふと存じます、其大敵に攻められたならば必ずや大打擊、甚だしきは亡びるのであるのです、此近き將來に將に攻來らむとする所の大敵は今日の陸軍海軍を倍の力にして防いでも防ぎ切れないものであります、全國皆兵であるから苟も男子は皆兵役に從事して戰つても近き將來に攻來る所の敵にはどんなことをしても勝つことが出來ないのであります、其敵は何でありますか。

▲其敵は即ち奢侈虛榮といふ敵であるのです、此奢侈虛榮といふ敵に襲れましたならば、法律の力でも之を止めることが出來ない、陸軍海軍の力でも止めることの出來ないのが是が奢侈虛榮といふ大敵であるのです、古より奢侈虛榮の敵に襲はれて敗北せざるものはないのである、羅馬もそれが爲に亡び、佛蘭西中世紀の革命もそれが爲に起つたのであります、是は恐しいことであるのです、乃ち彼の奢侈虛榮といふ敵軍はどの方面から攻めるかといふと、戰さの法則は敵の攻め宜い場所を狙て攻めるのが是が軍略上殆極つたものである、然らざれば敵を射るよりは馬を射れといふこともある、奢侈虛榮といふ敵軍はどの方面に突貫して來るかと云ふと

▲一番初めに若き婦人に突貫して來るのです、大抵若き婦人が奢侈虛榮の陷る〻所となり、而して其若き婦人は己れ一人奢侈虛榮といふ敵軍の虜となつたばかりならば宜しいが、必ず連添ふ所の男をも合せて奢侈虛榮の奴隷としてしまふのです、

舊約聖書を讀で見ますと、神がアダムイブといふ美しい仲のよい男女をエデンの花園に置いて、さうして適當なる訓誨を與へました、けれども一番初めに奢侈虛榮に驅られて約束を背いたのがイブといふ女であります、女が罪を犯すや否や直ちに夫のアダムをして同罪を犯さしめたのであります、故に奢侈虛榮といふものゝ軍略は第一に女を虜にして第二に男に及ぼすといふのが極まつた順序であるのです、併しながら日本にはまだ其奢侈虛榮といふ敵軍は來て居らないのです、けれども日本全國を見渡せば多少敵軍の探偵隊位は這入つて居るかも知れないのです、或は其探偵隊に少しく密告する者もあるかも知れない、或所に持て行つたならば必ず降參しませうといふやうな連中もあるかも知れません、是は實に大事な恐しい敵であることは申すまでもないのです、奢侈は先づ婦人を虜にして婦人に連添ふ男子を虜にして、其次には如何なる方面に攻込んで來るのかといふと、即ち金のある中流以上の所を攻めて來ます、貧乏人は奢侈をしたくても出來ないから先づ中流以上上流に持つて來るのです、西洋の諺に

▲高き木は梢から枯れると申しますが、それは事實であります、恐しい大きな木仰ぬいて見るやうな大きな木の一番先きにちよいと枯枝が一本見えたならば、其木は大層立派に見えますけれども必ず其根本に洞が出來て居ります、木は必ず梢から枯れ始めるものです、根から枯れ始めるものではない、それと同じやうに社會の腐敗といふものは下流社會から起らずして上流社會から起るといふことは間違ひないのであるのです、大木は梢から枯れ社會は上流から腐敗することは間違ひない事である、故に奢侈虛榮といふ敵軍は必ずや上流社會を襲ひに參るのであるのです、故に婦人の責任といふものは恐しいものである、陸軍海軍でも防ぐことの出來ない大軍を防ぐといふのは婦人の責任であるのですから、此軍勢即ち奢侈虛榮軍といふものを見事に退治する所の軍旗の輝きを揚げることが婦人諸君の重大なる義務であらうと思ふのです。

（つゞく）

●夏の祭

姉崎文學博士談

▲祭のやり方は大體眞似である、尤も人間のやる動作には眞似が多いが、祭の如きは殊に多くその分子を含んでゐる。これと云ふのは人間が共同生活をする爲めである、今日は獨立自尊とか個人主義とか云つて宛もこれを自然の樣に云ふが却てこれは不自然主義である。人間は元來共同生活をなすべきもので、眞似ると云ふ事も其處から起るのである。

▲夏の祭の種類の主なるものを擧げると日本には中々多い。先づ五月になつて端午の節會がある、これは植物に關係が深い。菖蒲に蓬とを除いては端午の節會は成立たない。併し植物の種類はもつと多かつたので、奈良朝時代には他のものを集めて體にまで纏つた記錄がある。而してこれ自然の眞似である、夏の自然を眞似し併せて自然を祝福し人もこれにあやからうとするのである。で始めは男兒の祭ではなかつたのが享保以後には英雄崇拜の思想も加はつて專ら男兒の祭となつた。次に花しづめの祭、大祓の祭の後にあるのは京都の祇園祭である。これは疫病除けの爲めの祭である。

▲西洋では六月廿四日にヨハネの日と云ふのがあつて、これが夏の祭である。この日は中夏の日とも云ひ、黃色い花の草木を集め、これを穴に入れて燒き、其の烟がなびけば豐饒になると信ぜられてゐる、而して此火をヨハネの火と呼び植物の成長の外、人間や動物の繁殖のまじないともする。印度では十月流燈の祭をやる。これは日本の盆の流し燈籠と似た事で、共に人間の運命を水に託して占ふのである。歐洲でヨハネの日にも亦人間の運命を占ふ事をやるこれらの祭にやる事はすべて迷信ではあるが其もとの意味を考へ敎訓を得る事を忘れてはならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の力（二）

久留島武彦

▲關ケ原の悲劇（下）

來「オイ、木下、幾ら隧道の中を覗いて見ても未だ關ケ原じやないからお母さんは見えやしないよ、と云つたが本人一生懸命、此時若しお母さんに會へなければ今度の戰爭にはいきて還れるかどうか分らぬから、一生懸命に見詰めて居る、其中に濱松、豐橋、名古屋と段々と來る中に本人は居ても立つても堪へられなくなつて來た、木「未だ關ケ原じやないでせうか、來「もう一時間か二時間の後には來るだらうから氣を付けて見ろ、木「ハイ貴君も氣を付けて見て下さい、來「それは氣を付けてやるが、キツトお母さんが來て居るに違ひないから、君が十分氣を付けて往き給へ、僕は氣を付けると云つても君のお母さんのことだから僕には判らぬが、兎に角何か目標を出して置いたら宜からう、木「どんな目標しが宜いでせう、來「どんなものと云つて『ハンケチ』か何か持つて居らぬか、と云ふと汚ない手拭を出したから。

來「そんなものは仕樣がないから、丁度僕が妹から貰つた縁縫の『ハンケチ』があるから之を渡して置かう『スチーシヨン』へ着いたら之を振廻はして居つたら誰か知らぬと人が氣が着くだらう、其時にお母さんが來て居れば君だと云ふことが判るだらう、と云つてそれを渡して置いた、それから名古屋の『スチーシヨン』を出ると當人は一生懸命で其『ハンケチ』を振廻はす。

來「オイ〳〵未だ早い、未だ早い、と云つたが、餘り一生懸命でそれを振廻はして居るので汽車の箱中の者が非常に同情を寄せて仕舞つた。

甲「大丈夫、關ケ原に着いたら僕等も見てやらう、と云つて皆心配をして與れた、すると關ケ原の近くまで往つたら、其時に私の考では關ケ原と云へば多寡が小さい『スチーシヨン』で其處には僅かに二百三百位の人が集まるのだらうから、其人の中からタツタ一人の母を見出すと云ふことはさう六ケ敷いことでなからうと思つて居ると、サア今度愈々關ケ原だと云ふ時になると、思ひの外の人でワアーワアーと云ふ聲が遠くから聞える、其聲が何だか汽車を搖めかすやうに聞える大變だ、愈々關ケ原に近付いた、軈て『ピー』と云ふ笛に連れて萬歳と云ふ聲が宛で山の崩れるやうに兩方から汽車の上に被さつて起る、無理はない『シグナル』が二つある、其外側の『シグナル』の方から『スチーシヨン』迄の兩側は人の山で、何千と云ふか萬を以て算へる程か判らぬ人が旗を振り、帽子を振り手拭を振り廻はして大變な騷ぎだ。萬歳々々と云つて居る、來「木下、サア此處が關ケ原だぞ、と云ふと、木「ハイ私は先から見て居ります、と云ふ、一生懸命で『ハンケチ』を振廻はして居るが、迚も判つたものでない、「氣を付けろよ」と云ふ中に汽車が『プラツトホーム』の中に這入つて仕舞つた、萬歳を呼ぶ人波は宛で汽車を埋めぬ許りである、來「木下、早くしなければいかぬぞ一分間停車だから。

と云つたが、迚も此中で木下が母の顔を見出すことが出來るものでない、吾々でも假令知つた者が居つても迚も判るものでない、丁度私が此處から皆樣の御顔を見るやうに重なり合つて誰が何處に居るか何だか判らぬ、それがジツトして居れば御顔は判るが聲を上げる、手を振る、大きな口を開いてワアーワアーと云ふ騷ぎだから迚も判らぬ、『木下早くしろ』と皆が頻りに云ふが、木下はもう夢中になつて窓から一生懸命首を出して『ハンケチ』を振つて居るが、到底判らぬ、氣の毒だと思つたが、如何に田舍の人と云つても驛の人にでも頼んで驛の此『プラツトホーム』にでも出て居つたならば宜さそうなものだ、さうすれば汽車の着く直ぐ前には來られないでも見付かりさうなものだと思つたが、皆改札口で締切られて山のやうに重なつて騷ぐ許りである、皆が「木下早く〳〵」と云ふと。木「ハイ、私は先から見て居りますが一寸も判りませぬ。

「何處だらう、何處だらう」と云ふ其中に下からピーと汽車が這入つて來た、木下はもう夢中になつて半身を乘出して見て居ると、車掌が驅付けて來て「危い危い」と云つて押込まうとするが押込まれては堪らぬと思つて「一寸待つて與れ、一寸待つて與れ」と云ふ、其騷ぎが耳に付いたと見えて不圖下手の方に枸橘の垣根がある、それが丁度吾々の胸の高さ位ある、其垣根の横から汚ないお婆さんが頻りに聲振絞つて「倅々」と云ふて居るのが聞えた、見ると木下は。木「アお母さんだ、お母さんだ、と云ふ、其時に汽車はピー下手から這入つて來る、此方は車掌が笛を口に當てゝ將に吹きさうになつたから、私は堪らぬから。

來「一寸待つて下さい、と云つて車掌の手を叩く、木下は夢中になつて。

木「お母さん、お母さんと云つて居る、其時にお母さんがどうしたか判らぬが胸迄ある枸橘の垣根を飛越した、此方へ廻らうとしては迚も見込がない、動きがとれないと思つたか、其垣根を飛越えてスポト前に來ると、田舍のことで裾を紮げて居つたと見えて下の方は膝迄出て居る片足丈け草履を穿いたのが飛越えると其下はタヽキになつて居る、高い所から年を取つた五十以上の婆さんが、越えたのだから、ハツト思つて居ると倒れたと見えて膝の下に血が出て居る、それを構はず窓の下迄驅付けて來ると云ふと、いんなり何か判らぬが帶の間から引き出して彼の木下が兩手を出して居る其兩手にシツカリと握らして、其儘何と云ふか云ふと、

母「手柄をしろよ！　手柄をしろよ！

タツタ一言、車掌はピーと笛を吹き汽車はポツポツと往つて仕舞つた、木下は手に何か握らせられた儘一言も云ふことが出來ぬ。お婆さんは木下の顔の見えなくなるまで見送つて。

母「手柄をしろよ！　手柄をしろよ！

と云ふ、私共それを見て何とも言へなかつた、何を握らしたのか判らぬが、木下もどうとか言ひたかつたか知らぬが何も言ふことが出來ぬ、お婆さんは唯握拳を振廻して。

母「手柄をしろよ！、手柄をしろよ！、

と云ふ、其中に汽車は出て往つて萬歳の聲も聞えなくなつた、誰も感極つて何とも言はない、汽車は無言の中に關ケ原の停車場を離れて仕舞つた、暫くすると初めて吾々の箱の中の四十人の兵隊が腰を下したが、皆顔を見合せると涙を零して居る、木下は眞赤な顔をして俯向いた切り一生懸命で右の手に何か握り締めて泣いて居る、それは何かと云ふと塵紙に包んだ僅かの小遣だ。而も我子供を送るに白い紙に包むことが出來ぬ、有丈けのものをヤツトお婆さんが寄せ集めて持つて來たものと見える、それを左の手に握つて子供に渡してさうして其時に『手柄をしろよ！』と云ふ此子供、此母、斯う云ふ國民を有つて居る日本の戰爭が負けてなるものか、日清戰爭に勝つたのは尤もだと思つた、是は日清戰爭の話。（つゞく）

「山脇高等女學校に於て」

朝露によごれて涼し瓜の土……言水

晝に小屋は燒かれて瓜の花……蕪村

さまぐに卯月もくれぬ紫蘇の汁…晋仲

應募　家政育兒　實驗

●種々の廢物利用

熊本　土屋ふさ子

世間で一般に廢物として棄てゝ顧みないものゝ中にも種々工夫して見ると利用の途の出て來るものが澤山あります、玉子の殼は決して廢れ物ではありません、貯めて置くと種々役に立つものです、珈琲を煎じる時に玉子の殼を碎いて共に煎じるとアクが取れ色も美しくなり味も佳くなります、又鍋や壜を洗ふ時水に碎いて入れて用ゐますと焦付もよく落ちますし曇りも綺麗になります、それから植物の肥料となり殊に萬年靑の根元に伏せて置くと功能があります、それから雜巾がけの水に入れると拭ふた物に光澤を出し糠袋に入れて用ゐれば色を白く致します。次に米を磨いだ時白水を其の儘流して了ふのは心無き業であります、白い木綿物を洗濯する時に唯の水よりこの白水を使ふと善く汚れが去れます、又野菜類殊に蓮根、牛蒡、竹の子等を茹るに用ゐますと早く善く茹ります。植木の根に灑けば肥料にもなります。古フランネルも無益のものではありません、これも磨物を爲る時用ゐると大變役に立ちます、何を磨く時にも重寶ですが特に銀を磨くには羊の皮に殆ど劣らない位であります、珈琲の滓も盆栽用の土に混ずと優等の成分になりますから棄てゝ了つては不可ません

●美味でんぶ

青森　峯子

日々の料理に使つた鰹節のだしがらを、粗末にせず取つて置きまして、之れが五合程も溜りましたならば、天日で能く乾かし、焙烙で煎り、夫れから擂鉢で擂り、砂糖と酒を適度に加へて鍋に入れ煮汁のなくなるまで能く煎りますと、誠によいでんぶが出來ます、市中で賣つて居ります美味いでんぶは、蕎麥屋のだしがらを買集めて拵へますから餘り清潔ではありません、前述の方法で拵へたものは、勿論清潔で、其味ひも頗る美味です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮内省御歌所主事 阪正臣先生選

應募和歌「磯千鳥」

一等(賞品贈呈)　岐阜縣加茂郡和知村　野村なか子

磯千鳥こほるばかりのこゑ〳〵を　ねさめのとこに聞くぞわびしき

(評) 情調ともに淸く雅なり。

二等(賞品贈呈)　岩手縣西磐井郡平泉村　渡邊豐惠子

二十日月さし出のいそのむら千とり　なく音さやけし寒きこの夜に

(評) 古雅なり。

二等(賞品贈呈)　千葉　土川倭文子

おき遠くかたわれ月の影さえて　いそへにたかし千鳥なくこゑ

(評) 丹齋に似たり。

三等　長崎　芳子

あら浪にこゑうちそへてなくなるは　友にはなれし磯千鳥かな

三等　京都　但村はつ子

いそ千鳥しば啼く小夜はいねかたみ　冷ゆる衾にものをこそおもへ

三等　愛知縣碧海郡旭村　岡部ひろ子

いさり火も消えて靜けき海原の　離れ小島に千鳥なくなり

佳作

たちさわぐあら磯浪に友よひて千鳥なくなり志賀の浦わに　岡山　西村淸子

あら磯によせては返る白波のたちゐひまなく千とりなくなり　大阪　室谷ひさ子

(七頁ニツヾク)

◉ウヰッチントンの猫

三卷芳嶺

(一) 黄金の都會

昔リチャード、ウヰッチントンといふ男の子がありました、然し人々はヂックと呼んで居りました。此の子の兩親は彼がまだ赤ン坊であつた時に亡くなりましたので、他人の手で育てられましたが、その人は極めて貧乏でありました。ヂックはまだ年がゆかないものですから、働く事もならず、從つて隨分難儀な目に逢つた事もありました。時によると、朝飯を食べなかつたり、晝飯にありつく事も出來なかつたりして、いつでもパンの皮や牛乳をホンの少し許り貰ふのを此上もなく喜んで居りました。

偖ヂックが住んで居りました町の人は、倫敦の話を好んでして居ましたが、誰さへまだ都へ行つた事はないのでありました、併し都の樣々の事を能く知つて居る樣子でありました。その話によると、倫敦に住んで居る人々は、皆立派な紳士や淑女ばかりで、終日歌を唄つたり、音樂を奏したり、又誰でも饑を感ずるといふ事はなく、働くのでもなく、町は到る所黄金で敷かれてあるといふのでありました。

ヂックは此等の話を聞いて、自分も一度是非倫敦に行つて見たいと思つて居りますと、或る日の事、八頭立の大きい馬車が此の小さい町に來て、ある旅館の傍に止りました。ヂックはこれを見て、此の馬車は屹度倫敦に行くのに違ひないと考へて居りました。

馭者が出て來て出立の用意をして居ります時、ヂックはその傍に走つて行つて、この馬車の側について行つてもよいかと尋ねますと、馭者は怪しんで、種々と尋ねて見て、この子が父も母もなく、甚だ可哀想な身の上だといふ事を知りまして、ヂックの考へ通りに遣つてもよいと承諾したのでありました。

然しこの町から倫敦まで行くといふ事は、ヂックの樣な子供には餘り遠すぎたのでしたが、どうかかうか倫敦まで參りました。ヂックは都に來た嬉しさに、かねて村の人から聞いて居た都の樣子を、早く見たいものだと、馭者に禮を云ふ事も忘れて、一生懸命に駈け出し黄金の敷いてある所を見つけ出さうと、町中此處彼處と走りました。彼は嘗て一枚の金貨を見た事がありました、その時これさへあらば、自分の好きなものが澤山に澤山に買へるといふ事を知つて居たので若し金の敷石のホンの小さい一片でも手に入らば、種々入用のものが買はれるだらうにと思つて居ました。

こんな事を考へながら、ヂックは走り廻つて居る中に、疲れ果てゝしまつて、最早一歩も歩けなくなつて了ひました。日は既に落ちて薄暗く何處の町も黄金ならぬ塵や埃ばかりが散らばつて居る。彼は茫然して道の傍に坐し、いつともなく體の疲れに眠つて了ひました。

翌朝不圖眼が覺めると、非常に腹が減つて居たのであるが、パンの皮さへも無い、今は黄金の敷石どころでなく、たゞ食物の事のみに氣を取られ、又もや町を彼方此方と歩き廻りましたが、とう〳〵堪へられなくなつて、通行の人にお金を下さいと申しました。併し誰一人この子に惠む人もなく、中には、

「働け、この怠け者奴が。」

と云ふ者もあり振向いて見もせずに通り過ぎるものもありました。

『僕は働きたいナア。』

と、ヂックはつく〴〵歎息して居りました。(つゞく)

凱旋サイダー

◉わきが及皮膚病
最も完全なる治療法

夫れわきがなるものは腋下の分泌液より一種不快なる惡臭を發する病症なり凡そ人として此病有時は全身常に惡臭を帶び殊に暖季より暑季に向ては惡臭一層甚だしく人をして近接に堪へざらしむる實に人間として恥づべき惡病なり又婦人の如きは外面如何に美なりと雖も此病有る時は人皆之をさけ應對談話するも快とせず故に良緣を妨ぐる等實に悲み惱むべき惡病なり然れども未だ是れらに確實なる良藥を認めず爲に當主其の患者に治療の目的を達せしめんと西川醫學士と共に多年研究苦心の後ち玆に一大良劑を發見し數多患者をして實見するに偉大なる効力を有し愈々確實なる一新藥となれり依て同病者に弘く傳へん爲め內務省に向て出願したるに當省に於ては本劑を試驗の上(第一六八二九號)を以て官許せるものなり藥名淸腋散と名づくせらるべし又本劑はたむし、水むし、いんきん等の皮膚病は如何なる痼疾と雖も速に治療す。

藥價五十錢、一圓、二圓　送料八錢
本舖へ代金を添へ御註文なれば直に送藥す

藥劑本舖　東京神田錦町三丁目三　中村寶珠堂藥局

金線サイダー

お客さと云へば
一に座蒲團
二に金線
サイダー
此れならば安心して人にも勸める事が出來飲む事が出來ます

巴里の生粋を直輸せる
新着各種リボン

高尙なる寶石入束髮ぐし　目下流行界に持囃される
輕く工合よき前髮シン
其外御婚禮用鼈甲櫛笄簪及小間物流行品一切尙御便利の爲御持古しの小間物御交換仕候

鼈甲萬小間物商　東京神田多町　三井屋商店
電話本局二〇七六番　振替口座二八一一番
新橋、博品館內支店、神田、東明館內支店

婦人割烹講習會

家庭に於ける割烹を講習せんが爲婦人割烹講習會を起し左の講習を開く

◉**普通科**(普通科ハ入會隨時)　和洋料理及製菓其他雜科

◉**速成科募集**　毎週二回水曜日、土曜日に開く　一ヶ月卒業　三十回講習を以て修業す科目は和洋料理　製菓其他雜科

●調理の外に食卓裝飾食事作法等を實習せしむ

◉**テーブル雜誌**　會員大募集
本雜誌は和洋料理製菓等總べて料理に關する記事のみを記載す
發行(月一回)毎月十五日　初號五月十五日發行
入會金貳拾錢、會費金貳拾錢
此の雜誌を望まるゝ方は御住所氏名を明確に認め入會金と會費(一ヶ月以上六ヶ月迄隨時)を添へ申込まるべし規則書を要せらるゝ向は郵券添へ申出らるべし

會長　宇野彌太郎
幹事　加藤九一
東京麴町區平河町三丁目十八番地
婦人割烹講習會
電話番町三八二二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

月かけはやゝかたふきていそ崎のなみによろ〳〵千鳥なくなり　横濱　鈴木まつ子

おほかたはかはり果てたる須磨の浦もむかしなからの千鳥鳴くなり　兵庫　三畑たか子

家やとふ友をやよはふ鹽風の吹飯のうらに磯千鳥なく　備中　林　秀子

よる波も岩にくだくるあらいそのかせにみだれて千鳥なくなり　豐橋　平松いと子

いそきはの海士の苫屋にともれして千鳥のこゑに目をさましけり　千葉　綿貫むら子

須磨の浦霜夜の月をなつかしみ友よひかはす磯千鳥かな　丹後　吉村千代子

深き夜にねさめて聞けは沖のかた月を友にてなく千鳥かな　本郷　木下きくえ子

旅なれぬ身はいねかての磯やかた浦風寒く千鳥なくなり　岩代　長谷川吉野子

聲きかぬ夜はなかりけり磯千鳥波の上くらく影は見えねと　日本橋　田中やす子

沖に出てし父の歸りをまちわひて母とある夜を磯千鳥なく　伊勢　佐々木樂子

みつ汐とゝもによりきて冬の月さし出の磯に千鳥なくなり　牛込　長鹽錠子

薩摩沖にあはれ千とりのなく聲は消えし春雨忍ふなるらん　芝　土師利根子

島かけに小舟つなきてぬる蟹のゆめおとろかす磯千鳥哉　岡山　森島古野子

こゆるぎの磯松風のたえまには千鳥友よふこゑのきこゆる　赤坂　清水まつ子

月尾島すみし千鳥のなく聲は磯うつ波に殘りけるかな　仁川　石川治子

風さむく磯部にあさる群千鳥鳴く音せはしき年の暮かな　石巻　吉田とき子

風さえて夜のふけゆけは磯千鳥波におはれて鳴き渡りけり　丹後　吉田とも子

音高くよせくる波の磯千とりなくなる聲もさやかなりけり　京都　難波夏久子

磯山の松の木の間に月冴えて聲もさむけに千鳥なくなり　三河　山内經子

霜しろく月影さむき冬の夜に磯へ淋しく千鳥なくなり　岡山　墨江幸子

沙なれし衣の袖も冬ふかみあら磯千鳥こゑそ身にしむ　横濱　鈴木伊都子

大君のふれみそなはすあかつきに千代よひかはすいそ千鳥かな　日向　山下むら子

●重なる毒草

トリカブト、センニンサウ、タガラシ、キツネノボタン、キンポウゲ、タケニグサ、テウセンアサガホ、イヌホーヅキ、ヒヨドリジヤウゴ、ハシリドコロ、トウダイグサ、ハダカホヽヅキ、タケアフヒ、ミツバアフヒ、テンガイバナ、キツネノカミソリ、ナツスヰセン、ドクゼリ、オホゼリ、ボタンニンジン、テンナンシヤウ、ムサシアブミ、マムシグサ、ヤマゴボウ、イラグサ、アセビ、ドクウツギ、ツタウルシ、フヂウツギ、

俳句

鳴雪先生選

天　竹の窓一吹颯と明け易き　兵庫港町　三畑たか子

地　疲れ鵜は月浴びて籠に靜なり　美濃中津町　酒井蝶子

人　船で詣づ浮辨天や合歡の花　千葉町千葉寺　綿貫けい子

佳調

心地よき幟の音や五月晴　千葉　石原たみ子
女を呼ぶ聲の遠さよ木下闇　神田　伊藤みの子
吾妹子よ鼻つまゝれな木下闇　茨城大曾根　みつ子
中庭に水も噴くなり夏座敷　同　同　人
夏川や筝一本のかげ涼し　廣島　不知道子
渺々と水の足りたる早苗かな　同　同　人
水に富む里の宵螢や啼水鷄　福井　三谷富士子
お地藏の冷えておはしぬ木下闇　同　同　人
狂ひ女が髮に挿したり合歡の花　同　山田豐子
畑道に牛避けて居る日傘哉　千葉　景山みよ子
月出でゝ鵜船つなきぬ橋の下　美濃　酒井蝶子
花桐に螢飛ぶなり宵の闇　同　同　人
宵々や螢亂るゝみをつくし　同　同　人
螢火や濱花江のよしあしの間に　同　同　人
夕顔に香殿來べき妻戸かな　同　同　人
下闇に經塚もある野寺哉　同　同　人
裏門の壕の深さや木下闇　同　同　人
小ゆるぎの螢が戸たゝく水鷄哉　同　同　人
天草の遊女や船に明易き　兵庫　三畑たか子
紅の灯ともしけり夏座敷　同　同　人
君が顔にかざす日傘や日のあかみ　同　同　人
投網の雫に光る螢かな　同　同　人
堀水も夜な啼き通す水鷄哉　靜岡　鈴木とよ子
蓮池に朝の小雨や濡れ佛　岩代　小川しん子
舟宿や障子の外に啼く水鷄　仙臺　武者波照子
芋畑や逃ろ水鷄に日の落つる　兵庫　三畑たか子
古澤や水鷄鳴きつゝ黄昏るゝ　同　同　人
遅れ咲く山藤白し木下闇　同　同　人
薪積て廻る船や夏の川　日本橋　成島ゆり子
栗鼠飛んで雫の音や木下闇　千葉　綿貫けい子
夏川や橋下につなぐ裸馬　同　同　人
石搖ぐ裸かの子等や夏の川　同　同　人
飛ばで這ふ羽蟻や古き寺の門　同　同　人
かげ寒き鵜飼の舟のかゞりかな　同　同　人
門叩く水鷄に嗣し八日月　仙臺　菅田梓子

●小笠原顧問の轉任

本會顧問海軍大佐子爵小笠原長生氏は今回磐手艦長に榮任されたるが學習院御用掛は從前の通り兼務さるると云ふ。

▲愛國文苑▼

⊙和歌　坂　正臣先生選
閑居立秋（八月十五日締切）野草花（八月廿五日締切）

⊙和歌　佐々木信綱先生選
夏野（七月十五日〆切）涼風入簾（七月廿五日〆切）

⊙俳句　内藤鳴雪先生選
蓮、雷、土用干、祭（以上の内七月十五日〆切）
蝙蝠、夏痩せ、
行水、蚊帳、瓜（七月廿五日〆切）

▲愛國文苑▼

●毛髮患者の福音

▲縮れ毛を矯正し赤毛を黑化する專賣特許香油の新發見

本紙記事を始め各新聞雜誌百廿餘社の紙上にて多大の稱贊を以て迎へられ衛生闡明協會々長清浦子爵を始め田原藥學博士及び高山三山の兩博士よりも實驗證明を得たる最近發見の專賣特許エンゼル香油は毛髮を黑化漆の如き光艶を出し且つ毛根を養ふ偉大の特効と高雅なる芳香は馥郁として長時間を保ち殊に

くせ毛

患者はB號エンゼル香油を使用すれば如何なる天性の縮れ毛にても自然に矯正する不思議の發見品なり◉定價其他の詳細は返信用切手を添へ東京本郷區東片町十五番地エンゼル商會へ申込あれば説明書を送る。

▲大變な世の中

甲「ナ、しばらく如何です昨今は？
乙「難有う、どうも大變な世の中になりましたよ
甲「どうして
乙「いゝえ、外でも無いんですがね、私ンとこの前の警察に一昨夜泥坊が這入りましたし、昨夜は隣りの消防屯所から火事が出ましてね

純正
京染
東京麹町三ノ七
京星社
電、番町二三二七

化粧界無比珍品

クセ毛直し　美髮劑
美顏　コールドクリーム　姉妹料
美顏　艶肌劑　姉妹料

●女子文壇の[illegible]顧問藤波[illegible]毛生實驗發明●ワザと粧飾せぬ實効專一化粧料なれば速に試用して如何に愉快且有効を知り玉へ

▲美髮劑五拾錢
▲特香油壹圓半（小包各八錢）
▲クリーム壹圓（小包送八錢）
▲艶肌劑六拾錢（小包送八錢）
清朝藍棒送料卄錢

●專賣元　東京京橋大鋸町　女子文壇社代理部
（振替口座壹七貳九番）●●

日本橋區元大阪町八番地

高木與兵衛

●御婦人方の最も大切な髮にくせのある方やはらかでふくれない方赤毛で困る方は此竹の露をお試し下さい。

此品は順天堂佐藤病院病理檢查員たる田中先生が或るやんごとなき方へ献上の目的で調製せられたものを今回發賣するのであるから有効無害は勿論ふけもとれつやが出て見違へる程綺麗な髮になります定價一瓶金三十錢送料八錢半打以上は市内配達致し升地方は送料不要

●大販賣希望の方は本舗へ御照會あれ

東京市本郷區東竹町二六
電話下谷二五二三番
春霞堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北白川宮殿下

（新講談） 桃川如燕講述

第一回、堀口女房靈夢に感ず

今回下賤の身を以て恐れ多くも故北白川宮能久親王殿下の御經歴を新講談と致し成るべく通俗の口調を以て辯じまする事と相成りましたのは、演者の此上も無き光榮と存じまする所でございます。宮樣は明治の日本武尊とまで申上げまするくらゐ、御仁德も深く非常に武勇にましましたことは、世人の普く知る所、然し御幼少の折は東叡山裡に佛法を修せられて艱難を積み給ひ、後年には詔を奉じて懸軍萬里、瘴癘獰猛の異域に士卒と辛酸を共にし給ひ、或時は野營の露深くして、一夜の御夢さへ圓からず、或時は三食も絶えて、僅かに野菜にて御饑を忍ばせられ、終においたはしくも職に斃れ國に殉じ給ひましたのは實に天晴のお方、演者平生より御德を慕ひまゐらせまする餘り、今回殿下に關しまする書物の有とあらゆるものを集め、また殿下のお附たりし方々より、實地の御話を承はり珍らしき御話をも伺ひましたのを一々書記して大分材料も集まりましたから、夫等を材料として極く通俗に辯じまする。

宮殿下は故伏見一品邦家親王殿下の御屋敷に於て御誕生あらせられ、邦家親王はお子が多くあらせられまするが、宮は第九の王子であらせられます、御母上は鷹司卿の第十二の姫君と申されまするが、實は左にあらずして邦家親王の御寵愛遊ばされし堀口女房と申す御方樣の御腹より生れ給ひしと云ふことでございます。時は弘化の三年の夏、堀口女房樣が邦家親王殿下よりお召がありましたので罷出ました 親『オ、能う參つた、近う進め、晝のうちは身も熔けん許りの暑さぢやが、夜分になり今宵の如き明月を眺めると、又た言ふに言はれぬ涼しさを覺ゆるの 女『左樣にござります、晝の暑さをホンに忘れまするやうで…… 親『オ、左樣ぢや、何ぢやか、異國の船が東國へ參つたとやら、世間も騷がしいやうぢやが、まづ京都の方は穩やかで結構ぢや、さ、茶を一つ進せやう』と殿下自からお茶をたてさせられて女房樣へ賜はり、女房は難有く頂戴して種々お物語など致して御部屋へ退がられたが、好いお茶を頂戴した爲か何分眠られませぬ、暑きが儘に縁の戸を明放し、ソヨ〳〵と吹く風の涼しさに唯うつら〳〵と眠るともなく、覺むるともなく致して居られまするうちに、空は益々晴れ、紫の雲棚引く心地して、ア、快い心地なりと思ふ間もなく、コハ如何に、忽ちおどろ〳〵と鳴り渡る雷に黑雲は空を蔽ひ、電光閃々たる其のうちより、現はれ出でたるは、大小幾百となき惡鬼共、或は赤きあり或は青きあり、黑きあり白きあり、怪しき物の凄ければ、あな恐しと思ふ折しもあれ、遙か彼方より御黑髮を振亂し、いとも尊き御姿にて、神馬を召させられ、劔を以て彼の惡鬼の前に現はれて、四方を突立てると見えしが、惡鬼は忽ち消失せて、彼の尊き所の御姿のみ神々として立たせたまふ、夢か幻かと見上ぐれば、白の御服を召させられ、緋の袴を穿かせられ、劔を横へたまふと見れば、其儘御枕邊へ來らせられ、莞爾と笑せらるゝと思ふ間に、忽然として御姿は消えさせられましたが、ハッと思ふと同時に、女房樣の眠が覺めた、さては夢にてありつるか、さても稀有のこともあるものよと思召されましたが、不思議にもこれより御妊娠、翌年の二月に至り、月滿ちて御誕生になつたのが宮殿下、女房樣が夢に見られたる尊き御姿に何處やら似てをらるゝが、其後日本武尊が草薙ぎの御劔もて猛火を防ぎ給ひ多くの夷共を退治らるゝ錦繪を見たるに、誠に夢の裡に現はれ給ひし御方樣に似て居らるゝ故、和子樣は日本武尊の御再生にはあらざるやと女房樣は思召されたと云ふ御話、これぞ芽出度き瑞群とも申しませうか、尊く難有き御話であります、所が堀口女房樣はお乳が出ないので森因幡守と云ふ者の娘吉野と云ふをお抱になつた吉野は身に餘る榮譽と謹んで御奉公を致す。（つゞく）

●腋臭患者の福音

▽完全なる腋臭劑の新發見

夏になると一層目立つて人に嫌やがられるのは腋臭で有る夫が爲め男子では交際の妨げともなり又女子にあつては空しく婚期を逸し又時としては破鏡の嘆を見る樣な事さへも有るいくら綺羅を身に纏ひ素晴しく化粧を凝らしたお孃さんでも途中で摺れ違つた時や汽車又は同席した場合風上から異樣の臭氣を嗅かされては一年の戀も一度に褪め果て全く嘔吐三升ならざるを得ない處が此度本鄉區森川町油横鈴木藥院より發賣せる『フレード』は獨逸醫學界の泰斗ノート博士か多年苦心研究の結果發見せられ腋臭劑として最も完全なるものにて目下學者間にも盛に賞揚せられつゝ有る由なれは醫療賣藥有らゆる手を盡しても全治せざるの士女は速に試用して其病苦を脱せられよ藥價は輕症用八十錢と重症用壹圓五十錢外に慢性用特製三圓の三種で別に十錢の送料を要す由

金婚正宗の名譽

愛飲家の福音

畏も御買上の榮を荷へり

名譽附特撰金婚正宗は毫も防腐劑を含有せざる故に日常の飲として衛生唯一の好飲料なり

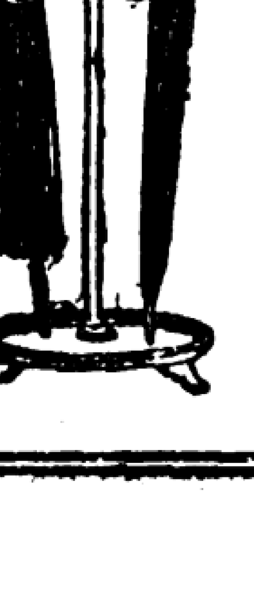
宴會用御用瓶詰あり
瓶詰箱入
各洋酒問屋にあり

發賣元 神田美土代町二丁目角
豐島屋本店
電話本局 〇八三 一八三

陸海軍諸官省御用達
鐵製改良風呂釜
湯屋用改良釜
檜製箱風呂
檜製桶風呂

實用輕便傘立

此傘立は鐵製にして木口僅に仕込あれば取はづし自在 開傘洋傘ステツキ雨晴共使用出來極便利なり

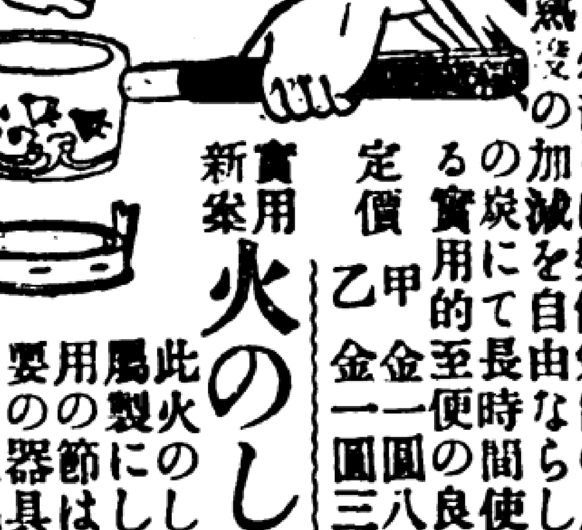


實用新案 複製

●圖の如く外部には裝飾兼備の風通し穴あり以て熱度の加減を自由ならしめ僅少の炭にて長時間使用し得る實用的至便の良器なり

名 ミカド火のし

定價 甲 金一圓八十五錢 乙 金一圓三十五錢



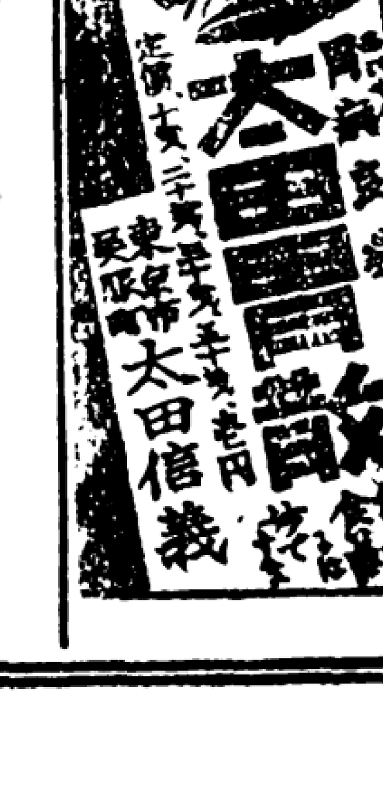
實用新案 火のし臺

此火のし臺は金屬製にして御使用の節は是非必要の器具なり 甲 卅錢 乙 十六錢

●販賣所全國到る處の金物商店にあり

日本橋通油町 製造發賣元 石川商店 電浪一四六二

京都市四條通り柳馬場東入ル 電上一五〇四 一手販賣 金物商 春井商店



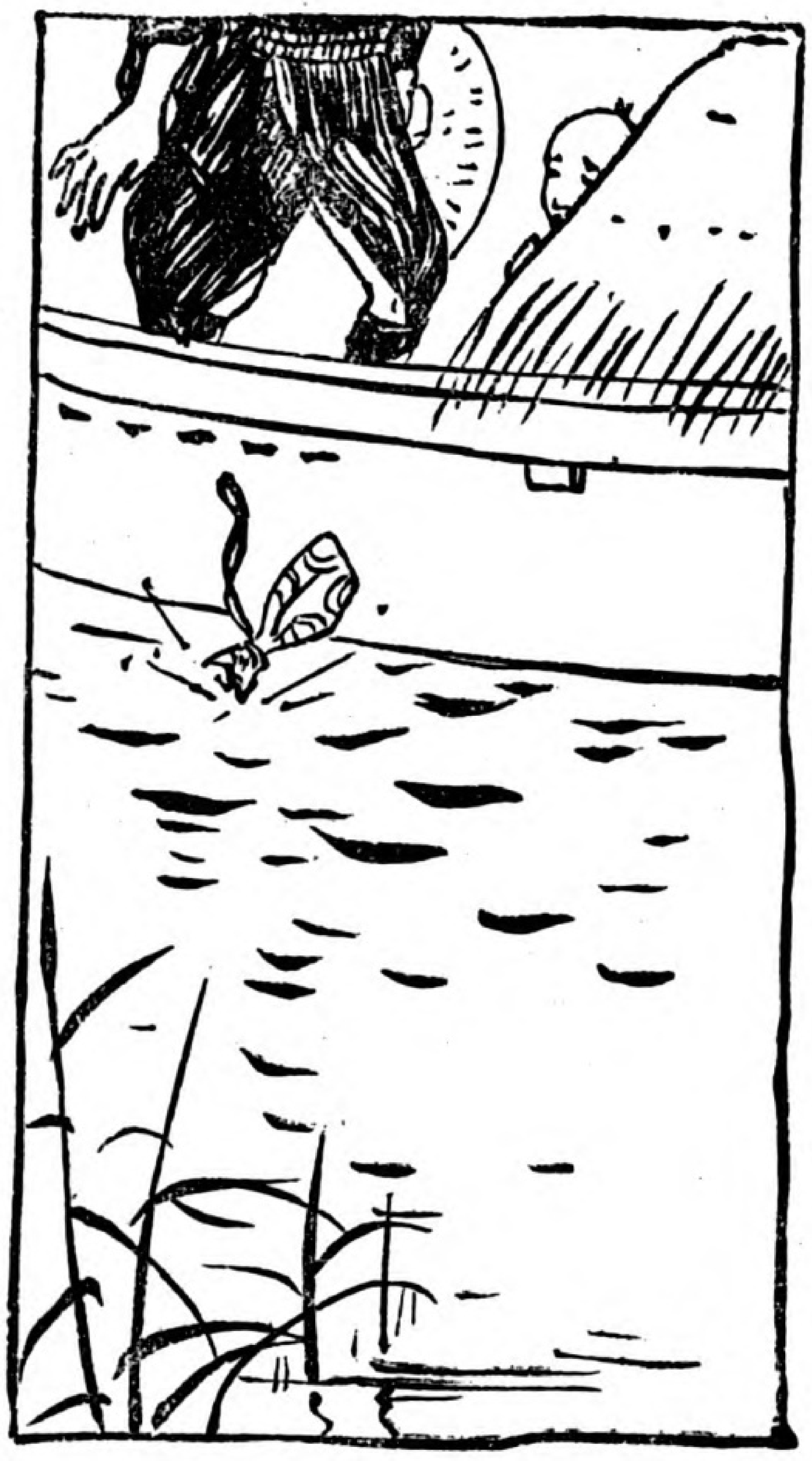
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鯉の裁判（三）

細川風谷講演

後に女房は平日より元氣好く仕事も捗り之からソロ〳〵燈光でも點けやうと、何心無く門口を見ると清兵衛が立て居る　女『ちよいと清兵衛さんぢやア無いかい　清『正しく清兵衛……異物の清兵衛、先刻から俺は此處に立て居る　女『何うしたんだい、體でも惡くつて歸つて來たのかい　清『さうぢやアねへ　女『夫ぢやア兎に角お上りな　清『俺は又之から出掛るんだ　女『何處へ出掛るの　清『死に行くのだ　女『可怪な事を言ふ人ぢやアないか、澤山儲かるからつて出て行て今更死なうナンて何うしたんだよ　清『人間と云ふものは不思議な者だ、老少不定は世の恒例、旦那寺の和尚さんの御法談を此間聽いた……明日ありと思ふ心の仇櫻……　女『變な聲をしちやアいけないよ、何うしたんだね、そりやア途中で間違でも起して其人を殺して死なくつちやアならないやうな事が男子だから無いとは言へないけれど、連添ふ女房ぢやアないかね、斯う〳〵言ふ譯だとお話しな、次第に依つたら一緒に死で上げるよ　清『死で呉れるか、持つべきものは女房だナ　女『だつて譯も分らないで死ぬのは厭ぢやないか、斯う言ふ譯だと話をして、道理だと思つたら死で上げるからお話しよ　清『譯を話すと手前が驚くからなナ　女『驚ろきアしないよ、次第に依つたら死で上げると迄言ふんぢやアないか　清『ぢやア話さう、實は紛失つた……　女『何がお前さん紛失つたんだ　清『十兩の金が紛失つたよ　女『エーッちよいとお前さん　清『夫だから言はねえ事ぢやアない……　女『だつてお前、夫婦で三年の間だ寢る目も寢ないで稼いだ金を何うしたんだよ　清『何うも斯うもねへ、其ぢやあ話すが、斯う云ふ譯だ、聽いて呉れ最剩俺が宅を出發て大津へ行くと、船頭が早く來い〳〵と言ふぢやアねえか、少し待て下さいと漸く轉がるやうに船の中へ入ると船頭が手を出して、サア賃錢を出せと云ふから賃錢は先方へ着いてからで宜からうと言ふと、今時の客人は風の惡い奴ばかりで、先方へ着いて賃錢を出した例を見た事がねへと言ふし、乘合の衆もお前の爲めに私共まで迷惑だと云ふから、夫は濟ませんと懷中から財布を出し、小錢を拾わうと思ふとツル〳〵ッと來て、ハッと思ふ間にボチャーンてんだ　女『落としたのかい　清『近江の湖水に十兩の金が落つちまつた　女『そりやアお前大變な事をしたね、何故早く拾つて貰はないんだよ　清『夫だから俺も一生懸命、船頭さん、濟ませんが早く拾つて下さいと言つたら、船頭の言ふのにやア、此の客人は馬鹿な事を言ふ客人だ、此の水底は龍宮に續いて居る、そんなに拾つて貰ひたけりやア俵藤太に聞て見ろッて言つたよ　女『お前さん馬鹿な事を言てちやアいけないよ、夫なり歸つて來たのかい　清『夫では行つたつて仕方がないから船頭さん御免し呉れろと云ふと、世話の燒ける客人だと濱邊へ捨るやうにして行かれた、乘合の衆は笑ひ乍ら向ふへ行く、跡に殘つた此の俺ア、三年の間夫婦の者が寢る目も寢ねへで稼いた金、近江の湖水へ落とすたア天道樣が情けねへと俺ア天道樣ア怨んで沙へ食付いて泣て居たよ　女『道理だねへ　清『夫からすぐに死で仕舞ふと思つたが夫ぢやアお前が後で怨むだらうと思つてナ、漸くの事で今宅まで歸つて來たが餘りお前がいそ〳〵して働いて居るので、之ア一層の事言はねへて行て仕舞うかと思つたが未練が殘つて、タッタ一目お前の顏を見て出掛けやうと先刻から立て居るんだが、斯うなると人と云ふ者はなか〳〵此方を向かないもんだ　女『そんな事を言ちやアいけないよ　清『此事と云ふのも向ふの久五郎が、金が紛失りますやう〳〵と禱つたんだらうと思ふんだ　女『夫は屹度ソレに違ひないよ……屹度禱つたんだよ　清『俺も左樣思ふ、吁怨めしい奴は久五郎……。

（つゞく）



嫁入道具
宮崎タンス
京都堺町夷川角
電話一八二〇番

今
ハヤリの子供帽子で氣の利いたお安いものはと問ふ人あらば關口洋品店製品と御答する

東京販賣所
三越
白木屋
松屋
松坂屋

直輸製造元
東京新橋
關口洋品店
電新二九〇二番
振替八〇九三番

横濱
鶴屋呉服店
相模屋
名古屋
伊藤呉服店
大阪
三越
髙島屋

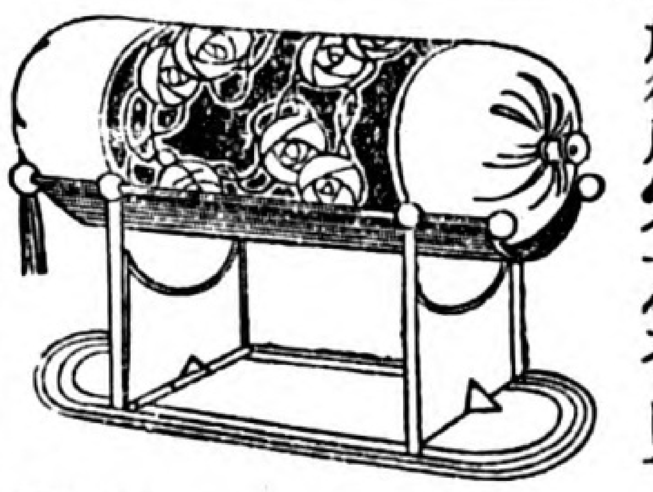
熱い〳〵とおしやる時の外出には前年來好評の
汗除帯
アンダーベルト

中元暑中
御進物用最適品
直段壹枚七拾五錢ヨリ各種有之候

ソバカスクリーム
ステールマン會社のフレックルクリームは御婦人方へソバカスの汚點を除く確實なクリームとして常に信用を第一に發賣して居ります此クリームの御使用法は極めて容易で御臥床の時に汚點の部分へ能く塗り込み御起床を待つて石鹸で洗ひ落すのでございます
壹個壹圓廿五錢

附屬洗面用石鹸
コンプレッキシヨン
壹個　七十五錢

家庭用旅行用
空氣眞小枕



其の具合非常によろしく避暑旅行又は御婚禮御祝物及び中元進物に適品
一組　金壹圓三十錢
空氣眞小枕　金五十五錢
ニッケル製折疊枕臺　金七十五錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●料理のいろ／＼

▲むし鰕、胡瓜もみ　何鰕にても沸立つた湯の中に入れて茹で、水に取て殻をはがして、細かにむしり鹽を加へ、酢の中につけ、後引き上げて胡瓜もみなどゝ付け合す胡瓜もみは胡瓜の皮をむき二に割りて種を去り、うすく刻みて鹽をふりかけ、後ざつと水洗ひして堅くしぼり、酢の中に浸し、五六分間も經ればよく絞り、三杯酢をかける。

▲南瓜の田樂　よく能で洗ひ、水氣をふきとり二分程の厚さに切り、細い串にさし、煮返したる胡麻油を兩面にぬり、烈火で焼き充分やけたら煉味噌をぬり、ざつとあぶりて串をぬき皿に盛る、味噌は初め鹹味をよく擂り、適宜に砂糖を入れ、裏漉して一寸火にかけるなり。

▲茄子のしぎやき　茄子を水洗ひして、前後を切り皮をむきて、五六分ほどの輪切になし、すぐ串にさし、よく煮立したる胡麻油を兩面にぬり、火に鐵架をかけ其上にのせて程よくやき、煉味噌を塗り、ざつと炙り串をぬきて、おろし柚をふりかけ皿に盛る、煉味噌の製法は、先づ味噌百匁に胡桃十粒の分量にて初め擂鉢にて、胡桃をすりつぶし味噌を入れて程よく擂り混ぜ、煮出を加へてどろりと溶かし、裏漉して、ざつと火にかけてれる。

時代に適合せる本講をばよめ

日本女子大學校編　新學期開講

女子大學家政講義

會員募集會則無代進呈

東京市小石川　精美堂　電話番町九三貳　振替二八三八番

凱旋サイダー

▲四季の好飲料　京橋區南小田原町チャリ社製造のチャリーサイダー、チャンピンサイダ水、レモンネード水、ヂンヂャエールは同社獨得の製法にして世の好評を博しつゝあり殊に暑中及び中元の贈答用としては至極適當品なり又會社は食パン製造を以て既に世に知られ品質の佳良なるを常に誇とせし故益々販賣盛大なりと

▲新案都はり箱　東京市淺草區西三筋町四十三番地安井都堂の發賣にかゝる都はり箱は外見書籍の如き體裁にて優美高尚なれば中元の御進物用としても至極結構なり御婦人方の避暑旅行の携帶には頗る便利で内容は起伏伸縮自在なる金屬製のくけ臺を取付け五色の糸は自働的に回轉しはさみ、こて、へら二つ折、物さし、つま、形袖形、針差、指貫に至るまで一切入れあれば學校及び家庭用としても賣行盛なりと。

●子供の出來ない人に

婦人病を病む人と病まれる人の難義を救ふ何うして難義を救ふのか男女にかゝはらず一度尋ねて御覽なさい此の事に就きましては私迄三代も研究して居ります御遠方の御方や御出の出來ない御方ははがきにて子供は何うすれば出來るのかと書いて東京市本所區横田友治として出して御覽なさい

さうすれば婦人病の治る事と子供の出來る譯を公益の爲めに無料にて詳しく御知らせ致します、此の樣な事を申したら御疑ひもありましやうが、何せよはがき代ですから聞くは一時、聞かぬは末代もし御出になる御方は横網町二の十八石原電車停留所前です。

京染悉皆

地方取引輕便價廉　營業案内送呈

美術模樣入各種染　本檳榔子黒染　友禪染　小紋染　堅牢諸色染　各種旗染　古染物替悉皆

京都油小路通五條上ル　野村萬次郎商店　振替口座大阪九四八六

染物は京染に限り升

別染めりんす友染　珍柄秩父めいせん　其外絹綿交織反物

東京人形町通よし町　赤のれん　おむなや本店　電話浪花四三四五番

向ふまへ　おむなやめりんす店

ハチ印

シャンペンサイダ

製造元　澁谷

金牌受領　於伊太利萬國博覽會

中元暑中御贈答佳品

ハンカチーフ各種

東京日本橋區ふきや町　中西儀兵衛　電話浪花七百番　振替口座一九七九九番

最も進歩せる

▲藤本藥學士發行

現世稀なる新奇藥の提供　毛はへる事實驗證明す

世に流布する毛はへぐすり實に不完全なるの餘り藤本理氏數年間諸藥學博士と合議の上現世一の本液ピロゲーンを發見せらる▲世の御婦人紳士等の難者凡そ毛根のあるべき部分に▲毛のなき方、又は、ぬけ毛を止め、薄毛を増し眞に發毛する事を證明す早く御試しあれ

●價特製二圓、大一圓、小六十錢　送費各四錢振替又は小かはせにて注文あれ

發賣元　東京市兩國横山町三丁目十五番地　賣藥問屋　玉置文次郎　電浪五一〇、一五四二　振替東京五四一四

愛國婦人廣告にて御申越しの方は送費無料

會員募集

女子手藝講義録

○此の講義録に依れば手藝の素養なき婦女と雖も安心して修むるを得

○機敏迅速に世の流行の先驅は本會の特色也

講義課目
▲裁縫科（和服洋服）▲編物科（各種）▲桂繡科（各種）▲割烹科（和洋支那）
▲裁縫小物科（各種）▲組糸科（各種）▲造花科（花弁果實）▲手藝圖畫科（各種）
▲袋物科（各種）▲刺繡科（和洋）▲細工物科（各種）▲手藝教授法

普通科　高等科　各一ヶ年修了　入會規定　内容見本進呈

入會申込所　東京日本橋角　大倉書店　振替貯金東京二三八

◎世の親々の心掛

是からが兎角ねびへをしたり胃腸を害したりする時でありますから不斷に此のねびへしらすを用ひて愛兒の健康に注意せられよ

養生腹掛　ねびへしらず　登錄商標

表中形裏ネル　一才用二十錢　二才用廿三錢　三四才用廿六錢　五六才用廿九錢　七八才用より大人向種々有之候

表メリンス裏同上　一才用三十七錢　二才用四十一錢　三四才用四十六錢　五六才用五十三錢

○取次店需なる足袋シャツ店

○頃弊店名義を詐り粗製品を販賣致候者有之一見御見安き樣一枚毎に登錄商標を添へて置きますから御買ひ求めの節御一覽被下度願上候

地方は代金引替小包送料五個迄十七錢五個以上送費當店持海外は實費申受の事

製造發賣元　東京日本橋區ふきや町　佃屋商店　電話浪花二三四八番

日本赤十字社病院御用達　蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店　麹町區永田町二丁目

乳牛場　豐多摩郡千駄ヶ谷町

鈴木牛乳店　電話新橋一九九五　振替口座二四三四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貴婦人達はナゼ美しいでせう!!!
▲其れはこの樣にしてみがき立てるからであります

美顔と化粧法

定價送料共金卅七錢切手代用は金四十錢
目次の大略▲色白くなる方法▲赤き顔を櫻色にする方法▲シワのよらぬ方法▲キメを細かにツヤを出す方法▲日にやけるを防ぐ方法▲齒を白くする方法▲毛▲手の色を白くする方法▲髮の毛を黑くする方法▲毛のわけるを止める方法▲毛をのばしつやを出す方法▲ふけを去る方法▲ちゞれ毛くせ毛赤毛を直す方法▲あるべき所に毛なきを生ずる方法▲やせる法ふとる法▲鼻を高くする方法▲聲をよくする方法▲入浴の方法▲化粧品の選び方▲おしろいのつけ方▲衣服の模樣と縞柄▲衣服の縫ひ方▲衣服の着方
此外いろ〳〵の事が書いてありますが皆どなたにもすぐ出來る事ばかりで其効果も面白い程あらはれます。私方へ二錢切手十五枚又は一錢五厘切手廿枚御申越下されば千部限特別に御分ち申上げませう
本書著者　東京神田錦町三ノ二　高柳孝子

色白くなる

色黑き方、靑き方、赤すぎる顔の御方は郵便切手二錢封入御手紙下さい、必ず色白く美しくなるよい藥を御知らせ致します、わけて日に燒けて黑くなつたなどはすぐ白くなります。皆樣に御實驗を願ひました所澤山の御禮狀をいたゞいて居ります
東京神田錦町三の二　高柳こう子

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　參百參拾五萬圓
東京市日本橋區小舟町
株式會社　**第三銀行**
電話浪花　四四二　四五一　三七七　四五六〇
監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

於日英博覽會
最上醤油
賜名譽大賞牌
カギダイ
到る所の酒醤油店に販賣す
釀造元　下總銚子港　鶴屋吉兵衛

淺草區

內田病院
淺草新福井町二（死町停留場際）
事務用電話下谷七一八
病室用電話下谷四八三八
●小兒科專門　午後診察　副院長擔任
院長醫學士　內田愼太郎
副院長醫學士　瀧原五郎
病室落成に付隨時入院の需めに應ず

神田區

東洋內科醫院
東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋附近
電八八八病院用（本八九八私宅用）
院長醫學士　高田畊安
院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後需應
林、蜂間、兩副長は目下當院に在勤

南湖院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎海濱從停車場半里
電、チガサキ二番
河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤、院長診察、土曜日午后、入院、診后應需、

內科一般 殊に（肋膜炎、腎臟炎、胃、腸、肝臟病）
醫學士　村松平次郎
神田區表神保町六（電本一四五二番）

麴町區

內科診察　宅診午前及夜間九時迄　往診午後
醫學士　中山敏樹
麴町區四番町四番地（電話番町貳三八四）

鷲山改姓
產科婦人科小兒科　女醫　吉岡彌生
診察時間　院長　每日八時より　醫員　每日三時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京至誠病院
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地　電話番町二二五七

醫學博士　榊順次郎　每日午前診察
醫學士　久保德太郎　日曜水曜午後　婦人科的外科
醫學士　田代謹二　火木土曜日午後　泌尿器病及內科
醫學士　石塚保吉　水土曜日午後　小兒科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦產婦ヲ取扱フ
婦人科產科　榊病院
麴町區三番町三三（電話番町三〇三三）

芝區

◎**產科婦人科**　櫻井克巳
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番

齒科診療
每日　自午前八時至午後五時（但シ十五日廿八日休診）
芝區烏森町一番地
石川齒科醫院
電話新橋一九二〇

婦人科產科（診察午後入院隨意）
醫學士　久保德太郎
芝區愛宕下町四丁目西ノ一　電話芝七三番

日本橋區

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番同長一六一番
濱町產科婦人科病院
院長醫學士　小林八十七
醫學士　大瀨貴明
醫學士　佐野綱次郎

內科一般特ニ（胃腸病 腎臟病）
宅診午前　往診午後
（入院隨時）
日本橋區松島町廿七番地
醫學士　竹村正
電話三七六六

京橋區

◎院長ドクトル　木村順吉
次長醫學士　福田康甫
婦人科產科
木村病院
京橋卅間堀一丁目角
電京一六七〇番

腦神經精神病
赤坂　青山腦病院
院長ドクトルメヂチーネ　齋藤紀一
專門　醫學士三名
在歐　特長　田澤醫學士
電芝二七四五
電芝二六六五
電芝三四〇六

小兒科
赤坂區青山南町三丁目
醫學士　石塚保吉
電話芝三四七四番

小兒科醫院

本院　四谷區西信濃町十四番地（電話番町八七四）
院長醫學士　川村正治
宅診午前中　入院應需
分院　芝區西久保巴町四十五番地（電話芝二〇八六）
副院長醫學士　川村信一
宅診自午後二時

本郷區

…（診察時間）…
○**產科、婦人科**　入院應需
月、水、金午前　橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區蠣殼町一の廿九）
每日二時ゟ五時迄　自宅（下谷二四八七）
本郷區眞砂町十五番地
醫學士　橋爪哲造

小石川區

○**婦人科**○**產科**
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

◎**產科。婦人科**
◎**內科。小兒科**
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

下谷區

產科婦人科　天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長醫學士　天本治
（入院隨意）（電話下谷二六六九）

府下

腦神經精神病科
東京龜戸町電話本所二五五二
加命堂腦病院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

荷も美容たらんと欲する諸姉は先づ

ラーロラ

BEETHAM'S La-rola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容剤は日光、風、硬水に堪へる様皮膚を保ち日焦アセモ、アレ赤顔ソバカス等を防ぐに尤も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ふれば常に美しき皮膚を保ち得らるべし

M. BEETHAM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

製造所 英國セルテンハム、エム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

婦人画報

七月の巻

定價二十五錢　郵税二錢五厘

畫報

▼附錄「夕月」中川八郎氏筆 二頁大三色版
◎皇后陛下女子高師行啓
◎皇太子妃殿下女子大學行啓
◎閑院宮妃殿下台臨
◎東伏見宮妃殿下台臨
▼點茶の式▼金婚式
▼德川時代の服裝
▼第一高女同窓會◎新代議士夫人
◎夕涼◎元祿ぶり◎令孃鑑
▼福島氏の庭園と室内
▼時代の髮◎環女史と愛猫
▼花房博士家庭◎思ひ出多き集り
◎御前講演の諸孃◎波打ちきわ
▼下婢講話會▼謝恩會▼新郎新婦

讀物

◎避暑と感化　横井博士
▼濁流中の子孫　遠藤博士
▼夏姿　岡田三郎助　長谷川時雨　田邊學士
▼子供の庭　倉橋學士
◎婦人の氣質　高島平三郎
◎ある婦人に與ふる手紙　島崎藤村
▼鞠の教訓　久留島武彦
▼山本藏相夫人　ゆかり
▼旅行ハ趣味　岸夫人
▼其日其日　三宅花圃
◎女と衣　久保學士
◎妻に寄せた英雄の手紙
◎住宅　佐藤博士
◎男まさりの婦人　關口ぶん
▼暑中の支度
▼避暑地案内
▼結髪の顔形
▼この頃の惣菜　吉村里
◎學生時代と今の私　鳩山春子　岩崎照子

◎東京麹町區飯田町四ノ四(電話番町二三三九番)　東京社　振替口座東京一一八一八(全國各地書店に在り)◎

◎今!今!今!!!入學の時は今也

○ふりかなのついた、やさしい講義録!!
●婦人の雑誌をかねた珍らしい講義録!!
○商業の智識と家事とを教ふる講義録!!
●時世に後れぬやうにと導びく講義録!!

これを讀んで家政を整へれば月謝三十錢はどこからでも出る其事を考へれば安い安い!!

見本付規則書申込次第進呈

嘉悦孝子先生監輯

女子商業講義

今入學する者に限り束脩金免除といふ特典がある修了後は本校二年生に編入する規程も設けてある

賜天覽　賜台覽

二條公爵夫人題辭　嘉悦孝子著

再版 女四書評釋

橋口五葉畫伯裝釘頗美本

上製天地金帙入 定價金壹圓
並製函入 定價金六十錢

東京麹町區土手三番町
日本女子商業學校出版部
電話番町二一二七 振替口座東京一七〇七七

美術新案

半襟各種

ゑり清

本店 京都京極四条角
支店 京都四條御旅町

電上一九三〇

宮内省御用達

最上醤油之元祖

開業弐百六拾八年

釀造元 下總銚子町 濱口合名會社

振替貯金口座五〇貳壹番

最上醤油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衛門

釀造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛讀者諸君へ謹告

▲誌代の[illegible]ります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が便貨もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず一割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めた願ひます。

愛國婦人發行所

中元御進物用新柄種々

[illegible]

東京市日本橋區堺町通り ふきや町 電浪一二七〇

中元進物によく又御婦人の避暑に必要

◎新案登錄 都はり箱

定價
漆塗金蒔繪特製 金貳圓五十錢
同 上製 金壹圓五十錢
神代杉金文字入上 金壹圓
同 金壹圓
〃 ース洋本 金壹圓

都はり箱は體裁圖の如く中を仕切り其内に起伏伸縮自在なる金屬製の裄臺を取付け箱底より踏板の出る裝置にして又五色の絲は自動的に廻轉し、はさみ、こて、へら、二つ尺度、つま形、そで形、針、針差し、指貫に至る迄裁縫具が一切入れて有りますれば御婦人方の避暑旅行の御携帶に頗る便利で又御孃樣方の學校携帶家庭教育用として重寶なるが故貴も高貴のお方の御買上を賜りたれば各位幸に一個を購ひ膝下に置れん事を希ふ

郵稅市内無料外拾貳錢臺湾朝樺四十錢代金引替十錢增し郵券一割增し

製造發賣元 東京市淺草區西三筋町四十三番地 振替東京第二一五七六番 安井都堂

賣捌三越白木發明館博品館日本便達社其他文具店にあり

◎七月一日ヨリ中元大賣出シ◎

品ノ良イ直段ノ御安ク買ヘル品ハ かづさや吳服店ノ特價ノ均一品ニ限ル 殊ニ世間ニ類ナキ大好評ノ特價均一品ハ益々差加ヘ申候

均一品
一拾六圓七拾五錢
一四圓五拾錢
一參圓五拾錢
一貳圓八拾五圓
一壹圓八拾五錢

上等御召縮緬 きなし ぼうせ
縞ト無地ノ絽ノ御羽織地
男紋博多袋帶
博多唐織女帶地
本場伊勢崎夏名仙
友染メリンス浴衣地
上等浴衣地
上等縞柄 其他種々

本年最新流行なる人形町式の浴衣地は御好の珍柄澤山取揃へ有之候。其他御仕着地、よせきれ、見切反物等破格の直段の物階上階下に種々有之候

かづさや吳服店
東京日本橋區人形町通リ
電車堀留三丁目御下車
電話浪花（長六百十番 三八九二番）
振替東京（一五七〇三）

消化と毒けし ゼム 懷中良藥 口中香錠
到る所の賣藥化粧品店にあり

皆様（みなさま）
今日（けふ）もまた丈夫（ぢやうぶ）で元氣（げんき）で心（しん）から愉快（ゆくわい）に「暮（くら）す様（やう）」
「ゼム」を今（いま）すぐ召上（めしあが）れ

正札附 かやぶとん 夜具 ㋳
電車は駿河臺下東明館前にて御下車神田表神保町
矢田商店
電話本局二〇一八 市内無賃配達

凱旋（がいせん）サイダー

例年之通七月一日より 中元賣出し
[illegible]はした物（七日間）見切賣仕り候
日本橋通室町貳丁目 木屋漆器店

婦人世界

七月一日發行 七卷 第貳號 一冊拾五錢 郵稅一錢 五厘 一年分郵稅增共 二圓五錢

長篇家庭小說 子寶……村井弦齋
▲草鞋を作つて働く百九の老婆……福原有信
▲若い婦人の妊娠中の心得……岩崎直子
▲惡少年は嚴格な家庭の產物……立石謙輔
▲夏はとかく胃腸病にかかりやすい……鈴木主計
皇太子殿下の行啓を忝うしたる我が社主催全國小學校成績品展覽會……
▲育兒の心得……加藤博士
▲衞生と迷信……くれたけ
▲床しき謝恩會……婦人記者
▲中元の贈物……國分操子
▲殘飯の始末……婦人記者
△家庭お伽噺 馬鹿息子
△歷史講談 春日の局
△滑稽百話
△をりをり草
△手紙の形式
△野菜料理
△故鄉に歸らん
婦人と芝居……現代名流大家所說
▲淺ましい海水浴場の婦人風俗……下田歌子

發行所 東京京橋南紺屋町十二 實業之日本社 振替口座三六三二番 全國賣捌書店

皮膚諸病 梅りん どくりん 血の道 子宮病 諸病 月やくとまりたる病 子なき婦人 消渇病 田蟲症等
にきび 色の黑き人
そばかす あれ 生殖器諸病 神經衰症
陰萎 早漏 發育不充分症 記憶力減衰 わきが
遺精 夢精
皮膚病 わきが 生殖器諸病 ちぢれ
東京淺草瓦町廿八 朝八時より九時迄 中央醫院
▲病狀を記し郵券四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院長處方の特効新藥說明書を送る
東京淺草瓦町廿八 茅町電車停留附 中央藥院

愛國婦人取次販賣所 京橋區桶町二一四 田口組 （電京九三六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

神田三河町一ノ一九 博報堂
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱

京橋區南槇町七 大興社
京橋區南紺屋町一 一星社
神戸市元居留地仲町三八 東洋廣告取次會社

神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社

專賣特許 植木式 簡便哺乳器 輕便防腐器

●簡便哺乳器 壹號 貳號 四號

特製五本用 並製五本用 並製三本用

◎輕便防腐器は内部の金網も從來のものより丈夫に親切なる拵へて且底の構造により湯の沸き早く炭の入用少なく甚だ丈夫便利にして特に體裁優美です

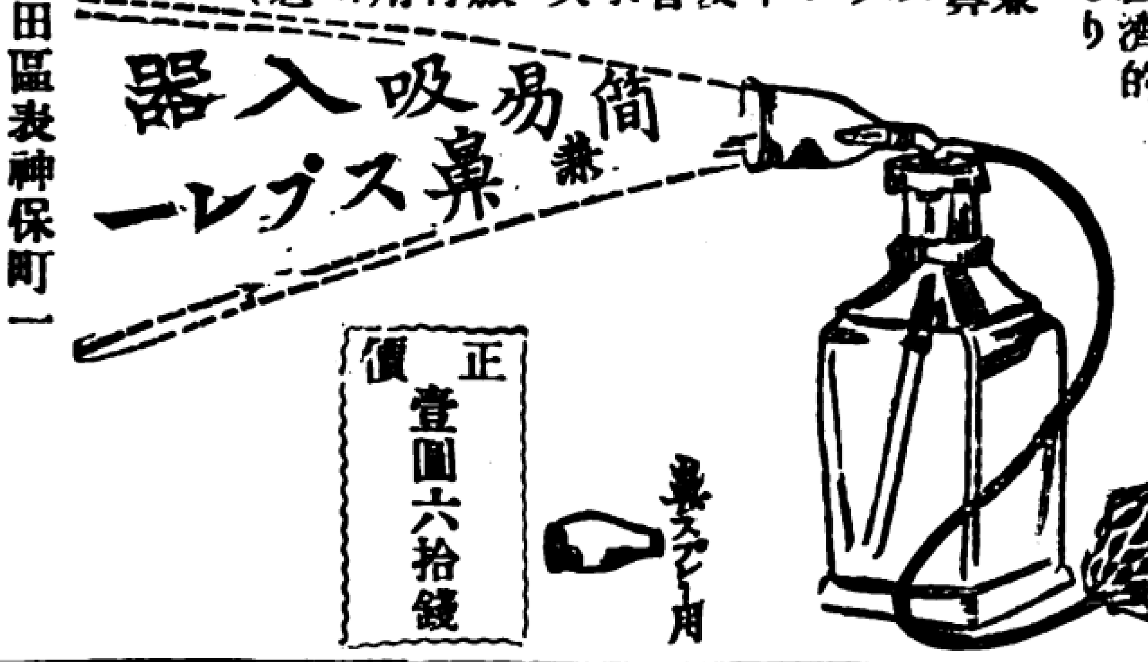
輕便防腐器（ニッケル製）

◎「アルコール」の必要なく最便利且經濟的なり

專賣特許

植木式簡易吸入器

（鼻スプレー及香水吹 旅行用に適）



正價 壹圓六拾錢

東京神田區表神保町一
哺乳器問屋 植木商店
電話本局三七五六
振替貯金六二九一

▲全國各地有名の藥店にありなき時は代金引替小包にて御送り申ます

水晶おしろい

すきとうりたる水にて付ろさ白くなる流行の薄化粧料にして目立ぬ故男子にも用ひられる

定價 五拾錢 貳拾五錢 拾五錢

本舖 東京 大和屋

最新刊

早稻田大學學長 法學博士高田早苗先生序 助川啓四郎君著

地方自治體の政治

菊版全一冊 定價五十錢送料六錢

地方自治の完成は刻下焦眉の問題也、都市獨り榮ゑて地方の衰弊を來たすは國家の爲に憂ふ可きの現象也、歐米の經世家が口を極めて都市集注の時弊を論ずると共に地方問題の講究に力を盡くし之が改善進歩を計る所以のもの全く茲に存す、本書は筆を自治の根本義に起し、町村會、敎育、社寺、衛生、勸農、道路、救貧、財務、消防、監督、組合等の諸事項に亙り細大漏らすなく、自治機關並に行政事務に關して法文を基礎とし、著者が多年研究の識見を以て的確なる解説を試み、議論正々堂々、自治體の運用に資する所實に多大也、社寺、縣廳、郡衙、學校、衛生等の職務に鞅掌する者は勿論府縣郡町村會議員並に地方靑年の爲に缺く可からざるの寶典也。

發行所 東京麹町二ノ二 振替東京二〇一九一四 洛陽堂

中元と粹な御履物

（遠方ハ代金引換小包ニテ御送り申上候）

東京市新橋南佐柄木町角
會津履物店
電話新橋一〇三五番

七月の卷發行

定價 一冊貳拾八錢郵税貳錢五厘 六冊前金郵税共壹圓七拾錢

新婦人

夏季特別號

夏の化粧法　上山浦路
涼しき化粧　遠藤初子
涼しい束髪　伊賀とら
鐵道乘客待遇新施設　木下淑夫

（北村東紅）鎌倉山（水井優子）冷熱夏の女（兒玉花外）たもと硯（本多嘯月）

●伊豆大島（幸田博士）婦人旅行の可否（嘉悦孝子）夏の魚族（岸上博士）才色兼備の瀬戸内海（巖谷小波）長良川の鵜飼（佐々木代議士）茶飲茶碗の水（幣原博士夫人）山紫水明境（尾崎市長夫人）婦人の水上極樂（石井研堂）湯行脚（長谷川時雨）婦人の富士登山（小島烏水）謎の地獄谷（尾崎菊子）寄居の娘子軍（藤間房子）夏に栞種の花（泉斜汀）芦の湖畔

涼氣双袂に充ち清風惰眠を醒す

附錄 鐵道沿線名勝案内 附錄電報賴信紙添

武藏鐙 河村清雄筆 油繪極彩色
水天髣髴 伊藤靜雨筆 石版極彩色
展望車上の阿孃 コロタイプ寫眞
其他本誌獨特の濃艶にして淸楚なる口繪は名家の淑女名流婦人如雲

卷末附錄 家庭日誌 七月分 濕度表 晴雨表 獻立表 來客控 ●九星略暦添

新婦人見本 郵券卅錢 賣捌所は全國著名の書林雜誌店

發行所 東京市本郷區龍岡町 振替東京三〇五八 聚精堂 電話下谷一六七二番 電話下谷四〇七九番

中元暑中御贈答に好適品なり

四季の好飲料

●チヤリーサイダー
●チヤンピンサイダー水
●レモンネード水
●ヂンジヤエール
●食麺麭

食パン

帝國大學御用 チヤリ合名會社
東京市京橋區南小田原町三丁目九番地
電話新橋一四二三番

（毎月二回、一日十五日發行）
▲定價一部金三錢五厘（郵送料共）一ヶ月金七錢
▲廣告料一行金六十錢
●電話（番町）一七四五〇番
●振替口座東京第三八一番

發行人 八田一精
編輯兼印刷人 竹内良三
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人會發行所
印刷所 東京小石川區久堅町 博文館印刷所

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●台臨

總裁殿下には既報の如く青森並秋田兩支部會員總會御台臨の爲め、赤十字社總裁宮殿下御同伴、阿部會長、古市理事其他事務員を隨へさせられ、去二十日午前九時三十分青森へ向け上野驛御發車遊ばされたるが、二十七日午後六時十分御機嫌麗はしく御歸京遊ばされたり。

●有功章贈與

青森支部

幹事部長 近森愛子　同 石黒みどり子　同 菊地くま子　同 山崎すみ子
同 樋口たか子　同 天城とし子　幹事 北村せい子

右功績に依り一等有功章贈與

青森支部

幹事 田村たそ子　幹事 吉村美代子　同 加藤たま子　同 泉山たけ子　同 木内しん子　同 大津すゑ子　幹事部顧問 松下賢之進　幹事 齋藤直子　同 佐々木たけ子　同 野村ひで子　同 藤林わき子　同 横井すゑ子　同 河谷りそ子　同 吹田なほ子　參與 三浦慶作
幹事部長 林ひさ子　同 淺川なみ子　同 竹濱つれ子　同 鈴木みつ子　同 津幡茂子　評議員 入木澤和子　同 林武藏　同 大郷みす子　同 中村あや子　同 松木千代子　同 中西はる子　同 木栗たけ子　同 野村みわ子　相談役 萩尭　幹事 片野やゑ子

右功績に依り二等有功章贈與（以上六月二十二日）

二等有功章 青森支部主事 首藤勇太郎

右功績に依り頭書の通り贈與（六月十三日）

青森支部

幹事 竹内たけ子　同 高橋とし子　幹事 油川やゑ子　同 河村げん子　同 高谷たけ子　同 高杉つる子　同 中田武範　同 川越茂則　幹事 米内山醇城　同 齋藤たけ子　同 千葉きゑ子　同 工藤みよ子　同 佐藤曾子　同 梅津きん子
同 岸ひさ子　同 竹内とみゑ子　參事 秋元なか子　同 高橋なよ子　同 岩見よれ子　委員 八戸盛靜　同 一戸男吉　同 荒關勝彦　同 熊谷乙次郎　同 外崎みゑ子　同 見島らい子　同 澤田はつ子　同 柴田かし子

右功績に依り三等有功章贈與（六月二十二日）

三等有功章 青森支部委員 一戸岳逸
同　同 工藤寛達

右功績に依り頭書の通り贈與（六月十一日）

三等有功章 青森支部幹事部顧問 北條貫次郎

右功績に依り頭書の通り贈與（六月七日）

愛國婦人會々員女子人口比較表（明治四十五年三月末日調）

府縣	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	四十年末女子人口	百分比例	七圓以上出金會員
臺灣	一,二四五	一,二〇〇	二,四四五	一六,一四九	四一,三八九	五七,五三八	五九,九八三	一,四六〇,一八七	四,一一	四二
北海道	五七四	二,四六〇	三,〇三四	一,〇八六	一三,三六八	一四,四五四	一七,四八八	五七九,八〇〇	三,〇二	二五
東京	二,六六八	四,八三九	七,五〇七	二,三七八	一四,二四七	一六,六二五	二四,一三二	一,一三六,四三〇	二,一二	八三
京都	五八五	一,八九一	二,四七六	九一六	一七,五一二	一八,四二八	二〇,九〇四	五二四,五〇〇	三,九九	二五
大阪	七〇三	二,六〇五	三,三〇八	九三三	一四,八三二	一五,七六五	一九,〇七三	八七二,三〇〇	二,一九	三三
神奈川	四六〇	一,一九〇	一,六五〇	一,〇七三	一六,五二五	一七,五九八	一九,二四八	五一一,〇〇〇	三,七七	七六
兵庫	七三〇	一,三四八	二,〇七八	二,九三八	二八,七二五	三一,六六三	三三,七四一	九〇一,二〇〇	三,七四	一七
長崎	一,三二一	二,二八四	三,六〇五	一,五五四	一一,三五一	一二,九〇五	一六,五一〇	五〇六,〇〇〇	三,二六	七
新潟	四一八	八〇二	一,二二〇	一,二〇九	一二,九三三	一四,一四二	一五,三六二	八八九,九〇〇	一,七三	三九
埼玉	一二一	二三〇	三五二	八六六	八,四九八	九,三六四	九,七一六	六三〇,四〇〇	一,五四	二七
群馬	一九四	一,三四二	一,五三六	二五〇	一二,八五八	一三,一〇八	一四,六四四	四六〇,六〇〇	三,一八	三
千葉	一九七	七六七	九六六	六二五	一二,〇九五	一二,七二〇	一三,六八六	六五六,八〇〇	二,〇八	二八
茨城	九三	五〇七	六〇〇	六一七	一二,五一二	一三,一二九	一三,七二九	六〇六,三〇〇	二,二六	六三
栃木	二一七	七三六	九五三	五二〇	一一,七九七	一二,三一七	一三,二七〇	四六二,八〇〇	二,八七	三
奈良	一〇三	一九五	二九八	九三三	五,三七八	六,三一一	六,六〇九	二七八,四〇〇	二,三七	一
三重	一四二	三二〇	四六二	一,〇九三	一三,二三一	一四,三二四	一四,七八六	五三三,二〇〇	二,八三	六五
愛知	六〇〇	九七一	一,五七一	三,七〇七	三一,四四一	三五,一四八	三六,七一九	八六八,二〇〇	四,二三	一四三
靜岡	三五四	六二四	九七八	一,四七〇	一九,一八七	二〇,六五七	二一,六三五	六五九,二〇〇	三,二八	三六
山梨	八七	二六五	三五二	三六七	三,三九五	三,七六二	四,一一四	二七七,〇〇〇	一,四九	—
滋賀	一三八	二九八	四三六	六〇一	五,二六二	五,八六三	六,二九九	三五八,七〇〇	一,七六	一
岐阜	一五四	七〇二	八五六	五一二	七,八八六	八,三九八	九,二五四	五〇五,〇〇〇	一,八三	五
長野	五三三	九五四	一,四八七	一,三一五	一七,一五一	一八,四六六	一九,九五三	六八八,二〇〇	二,九〇	一七五
宮城	三六〇	一,二〇〇	一,五六〇	六〇六	一一,七三三	一二,三三九	一三,八九九	四五五,五〇〇	三,〇五	三
福島	五一〇	一,〇二五	一,五三五	二,〇五六	一一,一一九	一三,一七五	一四,七一〇	五八六,九〇〇	二,五一	八
岩手	一七二	四九七	六六九	六二〇	八,二〇一	八,八二一	九,四九〇	三七七,一〇〇	二,五二	三
青森	三四七	一,〇四六	一,三九三	九八七	九,二八五	一〇,二七二	一一,六六五	三三一,九〇〇	三,五一	一五
山形	三七四	五二九	九〇三	一,九一〇	一八,六二九	二〇,五三九	二一,四四二	四五二,二〇〇	四,七四	一〇二
秋田	四六九	五三一	一,〇〇〇	二,二〇四	一一,二一〇	一三,四一四	一四,四〇五	四二〇,二〇〇	三,四三	四
福井	二〇九	七一〇	九一九	七四九	八,七五二	九,五〇一	一〇,四二〇	三二八,九〇〇	三,二七	一四
石川	七九四	一,二三八	二,〇三二	二,三五五	一六,一〇四	一八,四五九	二〇,四九一	三七八,九〇〇	五,四一	八六
富山	三二六	八二八	一,一五四	一,四一七	一二,二一七	一三,六三四	一四,七八八	三八一,二〇〇	三,八八	三三
鳥取	七五	二一九	二九四	二二一	五,四六五	五,六八六	五,九八〇	二一八,八〇〇	二,七三	三
島根	一一七	三一二	四二九	四〇七	一二,九九九	一三,四〇六	一三,八三五	三六三,〇〇〇	三,八一	一
岡山	三一〇	七七四	一,〇八四	一,八七七	二〇,一四八	二二,〇二五	二三,一〇九	五七五,五〇〇	四,〇二	一三
廣島	七〇二	一,八二八	二,五三〇	二,〇七四	三〇,二六九	三二,三四三	三四,八七三	七五一,八〇〇	四,六四	二〇
山口	三三六	八四九	一,一八五	一,八二八	二六,一二一	二七,九四九	二九,一三四	五〇九,〇〇〇	五,七二	五一
和歌山	九一	二九四	三八五	三三四	四,四四〇	四,七七四	五,一五九	三五五,〇〇〇	一,四五	一
德島	九三	二七九	三七二	六七三	七,〇七五	七,七四八	八,一二〇	三五一,五〇〇	二,三一	六
香川	二四二	五六六	八〇八	七五三	一一,七五八	一二,五一一	一三,三一九	三四二,四〇〇	三,八九	—
愛媛	一〇八	四八五	五九三	四〇七	一八,六五九	一九,〇六六	一九,六五九	五一三,八〇〇	三,八三	五一
高知	八三	二二二	三〇五	五五二	六,二五一	六,八〇三	七,一〇八	三一九,六〇〇	二,二二	—
福岡	五三四	二,一五五	二,六八九	一,二四〇	三〇,二九七	三一,五三七	三四,二二六	八〇一,八〇〇	四,二九	七
大分	一三一	七四三	八七四	三八三	一〇,五五三	一〇,九三六	一一,八一〇	四二九,九〇〇	二,七五	三
佐賀	一六六	六八六	八五二	三〇〇	八,四九〇	八,七九〇	九,六四二	三三五,一〇〇	二,八八	二
熊本	一九四	二,四八〇	二,六七四	四九〇	一八,一九四	一八,六八四	二一,三五八	六一八,三〇〇	三,四七	三
宮崎	一〇二	三七六	四七八	三八七	八,一九八	八,五八五	九,〇六三	二五八,九〇〇	三,五〇	三
鹿兒島	一九六	九九三	一,一八九	二七六	八,九五七	九,二三三	一〇,四二二	六二〇,三〇〇	一,六八	八
沖繩	八四	二六四	三四八	一二九	一,八六六	一,九九五	二,三四三	二四三,九〇〇	〇,九六	—
函館	一五〇	三四二	四九二	二六三	一,一五五	一,四一八	一,九一〇	四四,七七〇	四,二七	三七
朝鮮	六三九	一,八二七	二,四六六	五〇〇	四,八五三	五,三五三	七,八一八	—	—	二四五
海外	八六九	九六	九六五	四一五	一七八	五九三	一,五五八	—	—	一〇三
計	二〇,五二〇	四九,九二七	七〇,四四七	六七,五二六	六七四,七四八	七四二,二七四	八一二,七二一	二五,七一二,二八七	三,一六	一,八一〇

青森支部

工藤はつ子　柳谷ゑん子　算用木はる子　玉熊しゆん子　赤坂なみ子　三上ちか子　八戸きくゑ子　內山ちよ子　小林いと子　西澤ちま子　福島よれ子　對島まや子　松井ゆき子　宇野いま子　古川みゑ子　平山いま子　山内いく子　菊地富子　盛田つる子　濱中つき子　若山はる子　野村みよ子　三村きつ子　金入もと子　山内きわ子　出町やす子　奥田慶子　野村いわ子　松尾つゑ子　千葉なつ子　中村うめ子　若井やゑ子　森すゑ子　小島やさ子　大平みゑ子　熊澤その子　幸田たけ子　長谷川くに子　横山たみ子　加藤ため子
三浦まゆ子　柳谷たか子　小川りゑ子　工藤美津野子　平田さよ子　津幡さわ子　一戸はる子　山谷はつ子　長谷川なみ子　山形よし子　大瀬まき子　澁川ゆみ子　鳴海たき子　大館さき子　工藤きぬ子　安田いと子　木村さよ子　伊藤まつ子　盛田ひで子　米澤かよ子　岡田とよ子　種市みつ子　高橋いし子　三浦なな子　大島ふみ子　菊池こと子　工藤ひさ子　坂上かく子　河山ゆき子　長內ふよ子　小館みれ子　堀谷いそ子　樋口きさ子　西田まき子　西谷らゑ子　高橋ゆき子　大山てる子　長谷川ちよ子　木村そよ子　加藤きよ子
柳谷ひさ子　石岡まさ子　山木みゑ子　鹽田しま子　福井みつ子　田中さた子　月永みな子　寺澤みれ子　荻野その子　對島なか子　高杉よしの子　跡地いよ子　西谷きぬ子　山內りう子　安田まき子　平山なよ子　工藤ふさ子　杉山まつゑ子　盛田きく子　川口むら子　川岸りせ子　瀧澤りつ子　宮岡かれ子　小舘しほ子　馬渡なほ子　中谷そよ子　野崎とみ子　北山つる子　成田たき子　辻ふさ子　渡邊かれ子　桑たき子　太田つれ子　田澤なな子　羽賀きさ子　須藤たみ子　前田やゑ子　相馬りへ子　佐藤あき子　葛西ため子

右五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上六月廿二日）

特別徽章　秋田支部評議員 辻榮子

右功績に依り頭書の通り贈與

秋田支部

支部副長 佐藤つた子　評議員 山崎篆子　同 深谷きの子　主事 湊谷泰藏　幹事部顧問 河野隆性　幹事部顧問 曲木光潟

右功績により一等有功章贈與

參與 佐藤孝三郎　同 三好のぶ子　同 湊たけ子　幹事部長 河野たけ子　幹事部長 曲木鐡子　同 小杉定修

秋田支部

大島嘉子　庄司りや子　三浦さい子　河田きさ子
渡邊米子　菅野みや子　平野わみ子　土田むめ子　田口みよ子　平川きの子

右金百五十圓寄附に依り二等有功章贈與

秋田支部 本間みさ子　同 加賀谷くわ子

右金百六十圓寄附に依り二等有功章贈與

秋田支部

幹事部長 大久保つや子　幹事 天野りの子　同 小野崎ふで子　同 牧野きん子　幹事部長 小林ふさ子　幹事部顧問 前田復二郎　幹事部顧問 三神正健　幹事 小國きつ子　評議員 高梓木佳代子　同 瀧井倫子
幹事 富樫つれ子　協贊員 鳥橋千代子　協議員 伊藤みさ子　同 齋藤和節　事務員 前田よし子　同 三神はつ子　幹事部長 大久保鐵作　同 宇佐見さた子　元幹事 井上のぶ子　副幹事 堀内敬之助

秋田支部

元幹事部長 戸崎けん子　事務員 石黒松太郎　同 大山龍治　同 菅原さた子
元幹事部顧問 戸崎順治　同 竹村巳代治　幹事 津城とめ子

右功績に依り二等有功章贈與

秋田支部

協議員 河村ふさ子　同 佐々木みゑ子　同 佐賀てつ子　幹事 堀川吉之助　事務員 鈴木連治　同 田島しよ子　協議員 作左部貨　幹事 棚谷教
同 池邊まさ子　同 根本きさ子　幹事 清水やす子　同 今立豊吉　幹事 岩井信治　同 工藤ふさ子　同 鈴木吉三

右功績に依り三等有功章贈與

秋田支部

鈴木やす子　佐々木とりの子　館岡ぬひ子　相澤たけ子　四村たゑ子　高野やす子　岩澤みゑ子　武藤りさ子　東海林たつゑ子　杉田つる子　志田きつや子　平野千代子　櫻尾よし子　奥田ひで子　小松とみ子　石井ひさ子　山田さと子　田口かと子　石橋よし子　高橋ちう子　湊つれ子　吉田とく子　伊藤りの子　中野のぶ子　松浦やゑ子　金子きよ子　石木田さた子　大野うた子　竹村よし子
中山せん子　加藤きくよ子　佐藤みよ子　高橋とみ子　宮島つれ子　宮岡たけ子　三浦すみ子　小澤のぶ子　本郷じゆん子　柿崎あり子　加賀谷たつ子　佐藤きゑ子　加藤いつ子　加藤すな子　佐藤よしの子　奈良きゑ子　佐藤すま子　中島よしの子　加賀谷よれ子　池田いち子　淺川のぶ子　館岡みつ子　鎌田いし子　中村かれ子　荒川まつ子　成田きよ子　阿部ふさ子　齋藤きよ子
佐藤つる子　櫻庭はきの子　田村むう子　山內いな子　佐々木きん子　小林りさ子　澤木ゑい子　佐々木もよ子　最上うん子　八柳すき子　相澤みわ子　新林さた子　佐々木みわ子　佐々木市之助　伊藤せつ子　戸田ひさ子　佐藤さた子　對口はる子　佐々木さ子　澁谷つい子　荒川さた子　信田久子　大野しん子　金少さ子　池上榮子　關いわ子　藤原久子　小山田ひさ子

右金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上六月二十五日）

●彙報

▲臨時救護金贈與

佐賀縣杵島郡武雄町三六九九
故臺灣新竹廳巡査山崎嘉作養子　山崎勇

右山崎嘉作は新竹廳樹杞林支廳在勤中、敵蕃の狙撃に依り即死したる者にして、遺族勇は赤貧にして他の救護を受けざれば日々の糊口を凌ぐ能はざる状態にあるを以て佐賀支部長の申請により今回優待員に編入し定期救護金を贈與することゝなりたり。

愛媛支部新居郡西條町大字明屋敷一四〇
故陸軍兵卒加藤堅市妻　加藤くに
一金七圓也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右者剋下生計困窮に迫り臨時救護の必要ある者と認められ伊澤支部長の申請により去五月二十二日頭書の通り臨時救護金贈與されたり。

▲手藝研究會休會　本會內手藝研究會は每週三回宛開會し來りたるが追々暑中に向ふより來る八日以後一時休會し更らに九月十三日秋風漸く至るの期を待ち開會さるゝ筈なり。

地方記事

東京支部

▲補助金下付　東京支部經營に係る軍人遺族並廢兵家族授產事業に對し本年度分補助金下附の義豫て東京府知事へ出願中なりしが今回金一千圓を下附されたり。

新潟支部

▲幹事部總會　新潟支部新潟市幹事部會員總會を去五月二十六日午前十一時新潟物產陳列館內に於て開催す、當幹事部は四十年三月設置せられ四十一年には市內に春秋兩度の大火災あり其後引續き一般不景氣の爲め不振の狀態に在りしも昨秋來會員の增募を爲し今回始めて第一會の會員總會を開くに至りたるものなり。

當日幸にして天氣晴朗午前十時頃より參會するもの踵を接し無慮七百餘名、內軍人遺族廢兵の來會者百數十名の多數に及びたるが、やがて定刻に至るや先づ諸員最敬禮の裡に豫て會場一段高き所に奉安し白き羅を垂れたる總裁殿下御眞影の覆を徹し、幹事部長吉田きん子の開會の辭ありて支部長森うん子は左の告詞を朗讀す。

新潟市幹事部は本日を以て第一回會員總會を擧行せられ會員諸姉と共に一堂に相會するは予の最も欣ふ所なり　抑々本幹事部は近來頓に盛況を呈し今や會員千名を算すと雖も　而かも本會の主旨を達するには尙ほ未だ充分ならざるは　洵に遺憾とする處なり冀くは諸姉將來益々協力一致して　能く會員の普及發達を圖り　以て直に愛國婦人たる本領を發揚せんことを一言を陳べて告詞となす

明治四十五年五月二十六日

愛國婦人會新潟支部長　森ウン子

次で吉田幹事部長の答辭あり

新潟市幹事部第一回會員總會を開くに方り　支部長の御臨場を得懇篤なる　告詞を厚ふせるはキン子等の光榮とする所なり　自今一層奮勵本會の主旨を體し告詞に副はんとことを期す　之れを答詞となす

明治四十五年五月二十六日

愛國婦人會新潟支部
新潟市幹事部長　吉田キン子

終りて伊田幹事は會務並に會計の報告を爲し、吉田幹事部顧問の演說あり、更に森支部顧問左の祝詞を朗讀さる。

本日新潟市幹事部第一回會員總會を擧行するに方り親しく諸姉に相見ゆるを得たるを光榮とす抑も當幹事部は比年力を會務の隆興發達に致し近時著しく其の盛況を見るに至れるは　勿論當局職員諸氏が熱誠の然らしむる所なりと雖も　會員諸姉の忠君愛國の心厚きに因らずんばあらず

惟ふに本會の主旨は　忠愛慈惠の至誠に出て其の業務は君國の爲め身を致したる幾多軍人遺族　並に廢兵の窮困悲慘を救恤するにあり　然りと雖も熟て當支部の現況を觀るに　會員の數極めて少なく事業亦見るべきもの少なきは　深く遺憾とする處なり諸姉夫れ宜しく此の意を諒とし　將來益々協力一致奮て本會の普及發展に勗めんことを望む

明治四十五年五月二十六日

愛國婦人會新潟支部顧問　森正隆

次に島村軍人會長の祝辭演說あり、夫れより軍人遺族總代小島石太郎氏に對し慰問品を贈與し、吉田幹事部長の閉會の辭によりて式を終りたるが、同日午後一時より四時迄は當市壽座にて開演中の清國人曲藝奇術を觀覽に供せり。

因に當幹事部は現今會員千六名あり廢兵及軍人遺族の現在數は八十五名なり、而して當幹事部に於ては每年部內の廢兵及軍人遺族の家庭を訪問し又は一堂に參會を求めて慰藉するを例とせしが今回の總會に方りては特に招待して單衣地一反づゝを贈與し之を慰藉したり。

靜岡支部

▲臨時救護金贈與　靜岡支部榛原郡川崎町勝俣寡婦松田つやは夫勇次郎三十七八年戰役の砌步兵伍長として出征し不幸にして命を墜せし後一家の主働者として五人の子女を相手に辛くも其日〳〵を送りしが昨年二月より折々身體に異狀に覺え今は漸次病勢增進して稼も出來兼ぬる有樣にて從來永らく醫師の投藥を乞ひ居れども其日〳〵の糊口にも迫らるゝ身の悲しさには充分の手當も行き屆かず目下頗る困難の有樣にありて今や徒らに最後の期を待つの外なき悲慘の運命に陷り居れるとの報榛原郡幹事部長より申請せられたれば支部にては直に詮義の上以後每月金三圓宛を贈與する事となり幹事部長は早速つや宅に赴き慰問の辭を述べ併せて前記救助の旨を傳へたり。

尙又當支部に於ては三十七八年戰役負傷の當時療養の結果一時治癒の狀態なりしより恩給法の詮議に洽する事を得ず然るに近時傷痍再發し家業を營むこと能はずして生計上困難一方ならざる引佐郡都田村廢兵影山勸十に對しても目下救助の手續中なれども尙多數の遺族廢兵中從來餘裕なきものにありては諸物價騰貴の影響一層甚だしかるべく察せらるゝにより此際臨時救護の必要を認め今回各幹事部長へ通牒し狀況調查に着手したり。（通信）

岩手支部

▲遺族接待　去五月六日縣社八幡神社內に於て招魂祭執行遺族四百餘名の參拜あり笠井支部長を始め田中下田兩副長並に各職員三十餘名出席、遺族優待に斡旋し、參拜遺族に對し茶菓の接待を爲したり。

▲支部例會　岩手支部例會を六月十一日午後一時より縣會議事堂に於て開催す、來會者は笠井支部長を始め田中下田兩副長以下二十餘名にして會務に關して種々懇談する所あり、小林師範學校長の有益なる講演ありて散會したるは午後四時なりき。

愛媛支部

▲遺族生業補助金交付　愛媛支部に於ては去四十三年二月本部の承認を經、豫て縣廳より交付されたる元帝國軍人援護會資金利子積立の內を以て財源に充て遺族生業補助を實行し來りたるが、昨四十四年度に於ても左記の如く十二戶に對し金三百五十圓を交付したり。

尙本年度に於ても之を繼續實施する筈にて刻下熱心調查中なり。

金額	生業補助金交付條件	住所	被補助者
三〇円	山野開墾農具調理費	上浮穴郡杣川村	中川植十郎
三〇	小間物行商資金	伊豫郡松前村	西川しな
二〇	仝　上	同郡原町村	森田つい
三〇	眞綿帽子製造資金	喜多郡大洲村	村上初千
三〇	牛購入と駄屋修繕資金	同郡柳澤村	川田まさよ
三〇	古船及附屬品購入資金	同郡柴村	大野長五郎
三〇	牛購入資金	同	藤瀨淺治
三〇	豆腐製造資金	同郡智田村	二宮熊治
三〇	同　上	同郡五十崎村	河地とよ
三〇	小間物行商資金	松山市南八阪町	河合らく
三〇	養鷄資金	同市花園町	岡田正因
三〇	賣藥行商及雜品等購入資金	同市玉川町	津村藤吉

長野支部

▲事務員協議會　去六月三日より五日に至る三日間長野支部內各郡市幹事部事務員協議例會を開けり。

三日午前九時力石參與員始め評議員主事各郡市事務員長野支部事務所に集合、支部長に代り力石參與員より一場の告詞あり續て會員增募、年醵金整理、會員異動調查、遺族廢兵異動及現況調查の四件に就き協議を遂げたり、四日五日の兩日には各郡市幹事部會員臺帳と支部會員臺帳と人別照合をなしたり、今回の此臺帳照合は、郡市事務員全部列席上に於てなす義なれば轉入出退會死亡上の誤を始め姓名會費納期等に至る迄數百件の誤謬を訂正し非常なる好結果を得たり。

宮崎支部

▲地久節祝賀會　去五月二十八日正午より宮崎縣立高等女學校內に於て愛國婦人會宮崎支部、篤志看護婦人會宮崎支部、宮崎町婦人會聯合各自會費を醵出し地久節祝賀會を開催し後別席に於て有吉支部顧問其他來賓諸氏の講話あり茶菓饗應の間に彈琴、筑前琵琶等の餘興ありて午後四時一同散會せり、參會者約百名頗る盛況なりき。

和歌山支部

▲遺族廢兵慰藉　去五月六七兩日和歌山市公園に於て本縣尙武會主催に係る戰病死軍人記念招魂式執行の節和歌山支部に於ては當日參拜の遺族及廢兵慰藉の爲め式場附近に休憩所を設け副長、評議員、和歌山市幹事部幹事及主事々務員等出張、茶菓を饗して懇ろに接待したるが其數九百九十五人に及び、遺族及廢兵は孰れも滿足感謝の情を表したり。

山口支部

▲遺族接待　去五月六日七日の兩日山口町櫻畠練兵場に於て防長靖獻會主催殉國者招魂祭を擧行されたるにより當山口支部に於ては同所に天幕張りの休憩所を設け支部副長幹事部長山口附近町村幹事及び會員等數十名出張し懇切周到參拜遺族の接待に從事したり、因に當日の參拜遺族數は七百五十名の多數に及びたるが各特製菓子折一個宛を贈與したり。

愛國婦人二百五十二號附錄　發行人 八田一精　編輯兼印刷人 竹內貞三　發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所　印刷所 東京小石川區久堅町 博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN